SHARP®



MP3プレーヤーキット

形名 CE-AP1

取扱説明書

Zaurus

保証書付(巻末)
(WITH WARRANTY CARD)

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
CE-AP1はザウルスと組み合わせて、パソコンで録音したMP3形式の音楽ファイルを楽しむことのできる、MP3 プレーヤーキットです。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書は必ず保存してください。

対応機種

CE-AP1が対応しているザウルスは、**MI-P10、MI-C1、MI-P1/P2シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310** です。（2000 年 7 月現在）

特長

●ザウルスと組み合わせて、MP3 形式の音楽ファイルを楽しめます。
MP3形式の音楽ファイルは、パソコンで音楽CDを録音して作成するだけでなく、インターネットから入手することもできます。

●受信したメールや別途 Sharp Space Town からダウンロードした文庫（ザウルス文庫）、4 コマ漫画（ザウルス電子まんが）を読みながら、ザウルスで音楽を聞くことができます。

●音楽の再生や停止、音量調整などの基本操作が、リモコンで操作できます。

取扱説明書の構成

■かんたん操作ガイド

「まず、聞いてみたい」という方は、こちらをご覧ください。
本機の接続・設定から、MP3の再生までを、最短ステップで紹介します。

かんたん操作ガイドを最初にお読みになるときでも、取扱説明書（本書）の「安全にお使いいただくために」には、先に、目を通しておきましょう。

■取扱説明書（本書）

「もっと、使いこなしたい」「いろいろ、試してみたい」という方は、こちらをご覧ください。
CDからだけでなく、インターネットから音楽データを取り込む方法などについても説明しています。

説明例

本書ではザウルスアイゲッティ「MI-P10」を例に説明していますが、他の機種でも基本的な操作は同じです。
機種によって操作が異なる場合は、ザウルスの機種名を掲げて説明しています。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



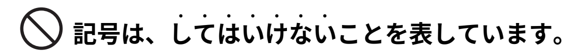
警告 人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。

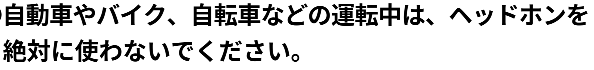
記号は、しなければならないことを表しています。

■ヘッドホンの取り扱いについて

警告

事故を防ぐために、次のことをお守りください。





- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ヘッドホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げ過ぎないでください。特に、踏み切りや横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

注意



ヘッドホンで聞くときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■付属 CD-ROM の取り扱いについて

⚠ 警告

付属のCD-ROMは、一般オーディオ用のCDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に被害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。



使用上のご注意

- ● CE-AP1をザウルス本体から取り外すとき、あるいはステレオヘッドホンをCE-AP1から取り外すとき、コードを引っ張って取り外さないようにしてください。故障の原因となります。
- ● CE-AP1をザウルス本体に取り付けた状態で、コードを引っ張ってCE-AP1またはザウルス本体、あるいは両方を持ち上げるようなことはしないでください。また、CE-AP1またはザウルス本体のいずれか一方を引っ張って、他方を引いたり持ち上げたりすることはしないでください。コード部が破損したり、CE-AP1またはザウルス本体が外れて、落ちて故障の原因となります。
- ●ぐらついた台の上や､不安定な場所に置かないでください。落ちて故障の原因となります。
- ●落としたり、強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- ●使用時は、コネクター部やヘッドホンプラグ部に力を加えないようにしてください。接続部分に強い力がかかり、故障の原因となります。
- ●コネクター部やヘッドホンプラグには直接手を触れないでください。内部の回路が静電気などによって壊れることがあります。
- ● CE-AP1をザウルス本体に接続または取り外すときは、ザウルス本体の電源を切ってから行ってください。
- ●防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。
- ●直接日光の当たる場所や車の中、暖房器具の近くなど、高温になる場所には放置しないでください。故障の原因になります。
- ●ホコリの多い場所、湿気の多い場所でのご使用、放置は避けてください。故障の原因になります。
- ●使用しないときは、CE-AP1をザウルス本体から取り外し、ソフトケースに収納してください。

●カバンなどに入れて持ち運ぶときは、必ずソフトケースに収納し、硬いものや尖ったものなどに当たらないように十分保護してください。
●ズボンの後ろのポケットには入れないでください。座ったときなどに壊れることがあります。
●お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。揮発性の液体(シンナー、ベンジンなど)や、ぬれた布などは使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

重　要

●この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
●お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤りや使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしていただいても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。このようなときには、この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してご使用ください。
なお、くわしくはもよりの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口までご相談ください。

著作権について

音楽用CD等各種CDやインターネットホームページ上の音楽や画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について、著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

- Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft Internet Explorerは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における商標です。
- Intel、Pentium は、米国インテル社の登録商標です。
- MMX は、米国インテル社の商標です。
- Cyrix は、VIA Technologies,Inc. の登録商標です。
- M II は、VIA Technologies,Inc. の商標です。
- AMD は、Advanced Micro Devices,Inc. の登録商標です。
- Netscapeは、米国Netscape Communications Corporation社の商標です。
- RealNetworks および RealPlayer は RealNetworks, Inc. の登録商標です。
- Real ロゴ、RealJukebox は、米国 RealNetworks, Inc. の商標です。
- CompactFlash™は、米国サンディスク社の商標です。
- Adobe、Acrobat は、米国アドビシステムズ社の商標です。
- その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
- この製品には、米国RealNetworks, Inc.からの使用許諾に基づいて、RealJukebox Basic および RealPlayer 7 Basic が同梱されています。

もくじ

お使いになる前に

ソフトウェアをインストールする

音楽データを転送する

音楽を再生する

付録

お使いになる前に

付属ソフトについて

付属ソフトウェアの内容

MP3プレーヤーキットCE-AP1には、以下のソフトウェアが付属しています。

- **「MP3プレーヤー」MOREソフト**：ザウルスでMP3ファイルを再生するためのソフトウェアです。本書ではVer1.2について説明しています。
- **RealPlayer® 7 Basic 日本語版**：MP3形式などの音楽データをパソコン上で再生するソフトウェアです。
- **RealJukebox™ Basic 日本語版**：音楽CDを録音したり、録音したMP3ファイルをパソコンで楽しむためのソフトウェアです。Basic版では、音楽CDを録音するときの音質（ビットレート）が最大で96kbpsに制限されています。128kbps以上のビットレートで録音でき、グラフィックイコライザーなどの機能を持つPlus版は、RealNetworks®社のホームページから、有償でダウンロードできます。
- **ザウルスプラグイン for RealJukebox™**：RealJukeboxからコンパクトフラッシュメモリーカードにMP3ファイルを転送するためのソフトウェアです。本書ではVer1.1について説明しています。



RealPlayer 7 BasicはRealJukebox Basicと一緒にインストールされます。

RealPlayer、RealJukeboxのマニュアルについて

この説明書では、これらのソフトの使いかたについて詳細には説明していません。使いかたについてくわしくは、ソフトに付属するヘルプをご覧ください。

RealJukeboxについては、PDF形式のオンラインマニュアルを用意しています。オンラインマニュアルを見るには、［スタート］－［プログラム］－［Real］－［RealJukebox Plus オンラインマニュアル］をクリックします。（オンラインマニュアルの内容はRealJukebox Plus版に基づいた内容になっているため、付属のRealJukeboxではご利用いただけない機能についても記載されています。）

なお、PDF形式のオンラインマニュアルを見るためにはAdobe Acrobat Readerが必要です。パソコン雑誌の付録のCD-ROMなどに収録されているものをインストールするか、アドビシステムズ社のホームページ（http://www.adobe.co.jp）からダウンロードしてください。

ソフトウェアについてのお問い合わせ先

●「MP3プレーヤー」MOREソフト、ザウルスプラグイン for RealJukebox のご使用方法などのご質問は

ザウルスに同梱の「ご愛用者カード」または「ユーザーサポートのご案内」に記載のフリーダイヤルで受付対応を致しております。

● RealPlayer、RealJukebox に関するサポート情報は

RealJukebox に関する情報：http://www.jp.real.com/rjcentral/
製品全般：http://www.jp.real.com/

使用条件について

当社では、以下の条件をご承認いただいたお客様に、付属の「ＭＰ３ プレーヤー」MOREソフトおよび「ザウルスプラグイン for RealJukebox」(以下、「本ソフトウェア」と記載)のご使用を許諾させていただいております。

本ソフトウェアをご使用になる前に、以下の使用条件を必ずご確認ください。

なお、本ソフトウェアのご使用をもって、この使用条件をご承認いただけたものと判断しております。この取扱説明書をご覧いただき、本ソフトウェアの機能などをご確認のうえ、本ソフトウェアをご使用ください。

シャープ株式会社(以下、「弊社」と記載)は、本ソフトウェアの非独占的使用権を下記条件に基づきお客様に許諾します。

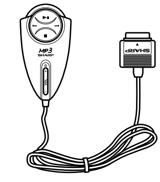
お客様は、本ソフトウェアのご使用をもって、下記条件に同意されたものとします。

1 お客様は、バックアップの目的のためだけに、本ソフトウェアおよび取扱説明書の全部または一部を１コピーに限り複製することができます。
2 弊社は、本ソフトウェアに関し、電話による使用方法についての問い合わせ、あるいは不具合へのサポートを以下の条件で行います。
   MI-310ではご愛用者カードにより、MI-310以外の機種ではザウルス本体からSharp Space Townにユーザー登録をしていただいている場合に限ります。ユーザー登録をしていただいていない場合には、サポートをお断りする場合があります。
3 本ソフトウェアを使用された結果、お客様に生じた損害に関し、弊社はいかなる補償も行いません。
4 弊社は、本ソフトウェアの仕様および取扱説明書の内容を将来予告なしに変更することがあります。

操作の前に確認しましょう

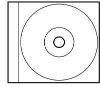
本体と付属品

□ **MP3 プレーヤー本体（リモコン）**

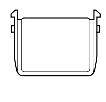


□ **CD-ROM（1 枚）**

- 「MP3 プレーヤー」MORE ソフト
- RealJukebox Basic 日本語版
- RealPlayer 7 Basic 日本語版
- ザウルスプラグイン for RealJukebox



□**固定アタッチメント**



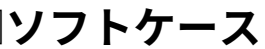
MI-P10 で使用できます。（2000 年 7 月現在）

この固定アタッチメントは、ＭＰ３プレーヤー本体のコネクターをザウルス（MI-P10)に装着する際、不用意に抜けないように固定するためのものです。

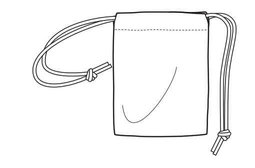
□**かんたん操作ガイド**
□**取扱説明書（本書）**
□**お客様ご相談窓口のご案内**

□**ステレオヘッドホン**





□**ソフトケース**



次のような別売品が必要です

カード（音楽データの録音用に）

●コンパクトフラッシュメモリーカード（市販の推奨品）が使用できます。推奨カードについては、シャープのホームページ（http://www.sharp.co.jp/）のザウルスコーナーをご覧ください。（2000 年 7 月現在）

● MI-EX1 やパソコンでコンパクトフラッシュメモリーカードを使用するには、PC カードアダプター（別売の CE-CA1 など）が必要です。

●録音に必要なカードのメモリー容量は、録音する音楽データの音質（ビットレート）や曲の長さによって変わります。目安として、ビットレートが96kbpsの場合、再生時間3分あたり約2.1MB、128kbpsの場合、約 2.7MB 必要となります。

クレードルまたはパソコン接続ケーブル

IrDA による光（赤外線）通信が使用できる環境がない場合、「MP3 プレーヤー」MOREソフトおよび音楽データのザウルスへの転送に必要になります。

●クレードルはお手持ちのザウルスの機種に適合するものをお使いください。（ザウルス MI-EX1 にはクレードルが同梱されています。また、MI-310 にはクレードルはありません。）

●パソコン接続ケーブルは、CE-170TS、CE-155TS、CE150TSをお使いいただけます。なお、CE-155TS またはCE150TSの場合、別売のオプションポート変換アダプター（CE-HA15）が必要です。



お手持ちのパソコンの RS-232C コネクターが D-SUB9 ピンでないときは、市販の変換コネクターも必要です。

対応するザウルス

本キットは、以下のザウルスに対応しています。（2000 年 7 月現在）
MI-P10、MI-C1、MI-P1/P2 シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310

必要な動作環境

ザウルス側

「MP3プレーヤー」MOREソフトに必要な空きメモリー容量：1.4MB以上
カード上の空き容量：

必要な空きメモリー容量は、録音する音楽データの音質（ビットレート）や曲の長さによって変わります。
目安として、ビットレートが 96kbps の場合、再生時間 3 分あたり約 2.1MB、128kbps の場合、約 2.7MB 必要となります。

お使いになる前に

パソコン側

CPU： Intel® Pentium® プロセッサ 200 MHz MMX以上、Cyrix® 6×86MX PR233、AMD® K5 PR-200(Intel® Pentium® プロセッサ300 MHz MMX、Cyrix® M II™-300、または AMD® K6®-2/300 推奨)

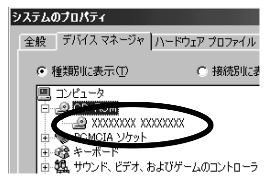
OS： 日本語 Microsoft® Windows® 98/ Windows® 95 (注)

(注) 使用可能なWindows 95のバージョンは、4.00.950B、4.00.950Cです。Windows 95 のバージョンを確かめたいときは、[マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]を選び、[情報]タブの「システム」の項目で「Microsoft Windows 95」の下をご覧ください。

メモリ：32 MB 以上 (64MB 推奨)

CD-ROM ドライブ：

デジタルオーディオ抽出対応の CD-ROM ドライブ。
古い IDE ドライブでは、録音時に雑音が混ざる可能性があります。また、以下のCD-ROM ドライブには、録音時に問題が発生する可能性があります。
MITSUMI CD-ROM FX410A !B/FX3400S、TOSHIBA CD-ROM XM-5702B/6202B、TORiSAN CD-ROM U200、NEC 24X CD-ROM CDR-1810A
CD-ROM ドライブの種類を確かめたいときは、[マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]を選び、[デバイスマネージャ] タブで CD-ROM の種類を確認します。



※画面は一例です。

ハードディスク空容量：

ソフトウェア用 15MB 以上、音楽データ用 200 MB 以上
(ソフトウェア用 15MB 以上、音楽データ用 1GB 以上推奨)

ビデオカード：16 ビット色表示可能なビデオカード

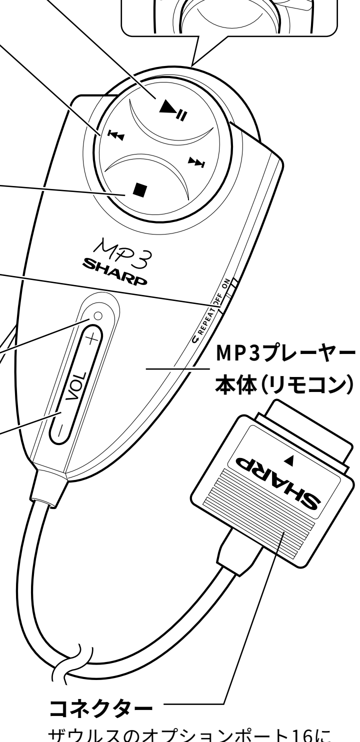
サウンドカード：全二重サウンドカードとスピーカー

上記のほかに、インターネットに接続できる環境と WWW ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 3.01 以降または Netscape 3.x 以降) が必要です。



お使いのパソコンによっては、CDから音楽をデジタル録音できなかったり、カードやザウルスに音楽データを転送できない場合があります。

各部のなまえと主なはたらき



ステレオヘッドホンジャック
ステレオヘッドホンを接続します。
（☞33ページ）

ステレオヘッドホン
耳に装着して音楽を聞きます。

▶II（再生／一時停止）ボタン
MP3ファイルを再生／一時停止します。
（☞36ページ）

I◀◀（曲戻し）▶▶I（曲送り）ボタン
再生中のMP3ファイルの頭に戻したり、
前の曲、次の曲にスキップできます。
（☞37ページ）
巻戻し／早送りに設定することもできます。
（☞48ページ）

■（停止）ボタン
MP3ファイルの再生を停止します。
（☞37ページ）

リピートスイッチ（☞37ページ）
ON ：再生中の音楽を繰り返し演奏します。
OFF：音楽を順番に再生します。

状態表示ランプ（☞37ページ）
点灯：再生中またはリモコン操作可能時
点滅：ザウルス本体の電池の残量が少ないとき

VOL（音量調整）ボタン
再生音量を上げ／下げします。
（☞36ページ）

MP3プレーヤー本体（リモコン）

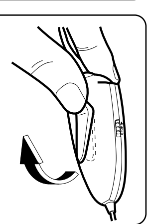
側面

◀HOLD

HOLD（誤動作防止）スイッチ
誤操作によって再生が始まったりすることを防ぎます。（☞37ページ）

コネクター
ザウルスのオプションポート16に接続します。

裏面
クリップで、服のポケットなどに留めておけます。
HOLDスイッチをオンしておくと、クリップ操作での誤動作を防げます。



ソフトウェアをインストールする

ザウルスに「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを読み込む

パソコンとザウルスを接続する

「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを読み込むために、パソコンとザウルスを接続します。3 種類の接続方法があります。

●クレードルで接続する
●パソコン接続ケーブルで接続する
●光（赤外線）通信で接続する

クレードルで接続する

1 パソコンとザウルスの電源を切ります。

2 クレードルをパソコンにつなぎます。

お使いのザウルスによって、クレードルの形状は異なります。くわしくは、ザウルスまたはクレードルの取扱説明書をご覧ください。

重要 お手持ちのパソコンのRS-232CコネクターがD-SUB9ピンでないときは、市販の変換コネクターが必要です。

3 クレードルにザウルスの AC アダプターをつなぎます。

4 クレードルにザウルスをセットします。



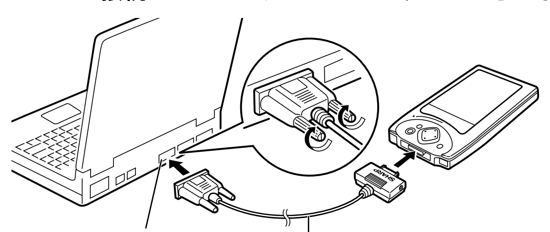
※イラストはMI-P10です。お使いのザウルスによって、クレードルの形状は異なります。くわしくは、ザウルスまたはクレードルの取扱説明書をご覧ください。

ザウルスのオプションポート 16 が、クレードルの接続端子とつながるようにします。

パソコン接続ケーブルで接続する

1 パソコンとザウルスの電源を切ります。

2 パソコン接続ケーブルで、パソコンとザウルスをつなぎます。





パソコン接続ケーブルは、CE-170TS、CE-155TS または CE-150TS をお使いいただけます。なお、CE-155TS または CE-150TS の場合、別売のオプションポート変換アダプター（CE-HA15）が必要です。



お手持ちのパソコンのRS-232Cコネクターが D-SUB9ピンでないときは、市販の変換コネクターが必要です。

光（赤外線）通信で接続する

1 パソコンの光通信を使用可能にします。

2 両方の光通信ポートがまっすぐ向き合うように設置します。（距離：約 30cm 以下）

正しく向き合うと、通信可能な状態になります。

くわしくは「光（赤外線）通信を利用する」（☞52 ページ）をご覧ください。

通信可能な距離についてはパソコンの取扱説明書でもご確認ください。



光（赤外線）通信は、初めての方には設定や使用方法が難しい面がありますので、クレードルまたはパソコン接続ケーブルをお使いになることをお勧めします。

「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを読み込む

「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを読み込む前に確認してください

●「MP3 プレーヤー」MORE ソフトをカードに読み込む場合は、カードを装着しましたか?

●パソコンとザウルスの電源は入っていますか?

●ザウルスパワーコネクションや PowerPIMM、FAX 受信ソフトなど、パソコン側で通信ポートを占有するソフトの「接続待機状態」や「自動通信状態」を解除し、すべて終了させましたか？

● **MI-J1 をお使いのお客様へ**

MI-J1には「MP3プレーヤー」MOREソフトがインストール済みです。ホーム（またはオリジナル）画面で［機能を追加］-［MORE実行/停止/読込/削除］の順にタッチして MORE ソフト画面を表示し、「MP3 プレーヤー Ver1.1」であれば、付属の CD-ROM より新しいバージョンの「MP3 プレーヤー」MORE ソフトをインストールすることをおすすめします。MI-J1 の「MP3 プレーヤー」MORE ソフトのバージョンが 1.2 以上の場合には、CD-ROM からのインストールは不要です。

MI-J1 に「MP3 プレーヤー」MORE ソフトをインストールするときには、あらかじめ本体にインストールされている「ＭＰ３ プレーヤー」MORE ソフトを削除してください。削除の方法は、16 ページの「MI-J1 から「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを削除するには」を参照してください。

MI-J1に「MP3プレーヤー」MOREソフトをインストールする場合も、以下の手順に従ってインストールしてください。

1 パソコンのCD-ROM ドライブに、付属 CD-ROM を入れます。

しばらくすると、「インストール選択」画面が表示されます。



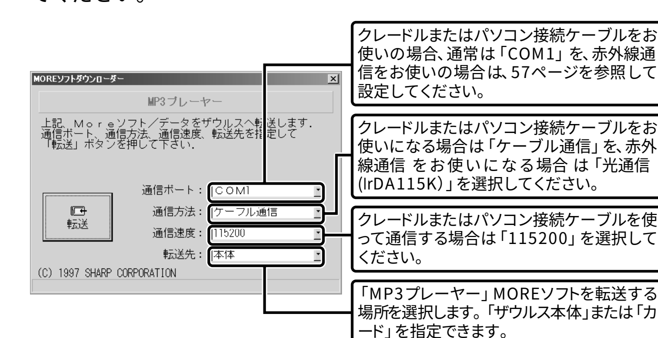
2 画面右上の「お読み下さい」ボタンをクリックします。

表示された内容を読み、読み終わったらメモ帳を終了してください。

3 「『MP3プレーヤー』MOREソフトをザウルスにインストール」ボタンをクリックします。

4 ザウルスへの転送方法を設定します。

本体メモリーに 1.4MB 以上の空きがない場合は、カードに転送してください。



5 ザウルスで、MORE ソフトの読み込み準備をします。

❶MORE ソフトの画面を表示します。

MI-P10、MI-C1：[ホームインデックス] キーに数回タッチしてMOREインデックス画面を表示し、[MORE管理]にタッチします。

MI-P1/P2 シリーズ、MI-J1：ホーム（またはオリジナル）画面で [機能を追加] - [MORE実行／停止／読込／削除] の順にタッチします。

MI-EX1：[電源] ボタンを押し、[オリジナル] - [MORE] タブ - [MORE 管理] の順にタッチします。

MI-310：[MORE] キー、[MORE追加／削除] の順にタッチします。

❷MORE ソフトを読み込む画面を表示します。

MI-P10、MI-C1、MI-EX1：[取る] にタッチして、パソコンリンク画面にします。

MI-P1/P2シリーズ、MI-J1、MI-310：[読込] にタッチして、パソコンリンク画面にします。

❸ パソコンからの転送方法に合わせて設定します。

	クレードル／ケーブル通信	赤外線通信
ポート選択	オプションポート16	光通信ポート
通信速度	115200bps	（設定する必要なし）

❹ [実行] にタッチします。

6 パソコン側で[転送]をクリックし、ザウルスに転送します。

転送が完了するまで、しばらくお待ちください。

7 ザウルスで、MORE ソフトの展開を行います。

❶ MORE ソフトの画面を表示します。（前ページ参照）
❷「MP3 プレーヤー」MORE ソフトをカードに読み込んだ場合は、［カード］にタッチします。
❸［XMP3.ZAC］にタッチし、［展開］にタッチします。



「MP3 プレーヤー」MOREソフト削除時のご注意

MI-310以外のザウルスに「MP3プレーヤー」MOREソフトを読み込んで実行すると、専用のMOREドライバー（「CE-AP1対応ドライバーソフト」）が本体メモリーに自動的に組み込まれます。このMOREドライバーは、MP3プレーヤー本体の［▶II］（再生）ボタンを押したとき、ザウルス側で自動的に「MP3 プレーヤー」MOREソフトを実行し、音楽の再生を始める機能を持ちます。「MP3プレーヤー」MOREソフトを使わなくなって削除するときには、このMOREドライバーも一緒に削除してください。なお、「CE-AP1対応ドライバーソフト」は削除する前に取り外しの操作を行ってください。MOREソフトを削除したりMOREドライバーを取り外す方法については、お使いのザウルスの取扱説明書の「MOREソフト」の章をご覧ください。

再インストール時のご注意

「MP3プレーヤー」MOREソフトを再度読み込むときには、前もって現在読み込まれている「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを削除し、「CE-AP1 対応ドライバーソフト」を取り外して削除してください。

MI-J1 から「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを削除するには

❶ ホーム（またはオリジナル）画面で［機能を追加］-［MORE実行/停止/読込/削除］の順にタッチしてMOREソフト画面を表示します。
❷ MOREソフト画面から、「MP3プレーヤー Ver1.1」にタッチして選択し、［削除］にタッチし、確認画面で［はい］にタッチします。「MP3プレーヤー Ver1.1」が削除されます。
❸ MORE ソフト画面で［本体］にタッチして、本体メモリー側に組み込まれている「CE-AP1 対応ドライバーソフト」にタッチして選択し、［取外し］にタッチします。
❹「CE-AP1 対応ドライバーソフト」を選択したまま［削除］にタッチし、確認画面で［はい］にタッチします。「CE-AP1対応ドライバーソフト」が削除されます。



MI-P1/MI-P2 シリーズをお使いのお客様へ

MI-P1/MI-P2 シリーズに、「MP3 プレーヤー」MORE ソフトをインストールして実行すると、ドコモおよびアステルの PHS 電話機での通信ができなくなる場合があります。通信できないときには、CE-AP1 に付属の CD-ROM から、「ドコモ PHS 64k ドライバーソフト Ver1.32」を次の手順に従って、MI-P1/P2 シリーズ本体にダウンロードしてご使用ください。

❶CD-ROM をパソコンにセットします。

❷インストール画面が表示されますので、画面右下の[中止]ボタンをクリックしてインストール画面を閉じます。

❸「マイコンピュータ」をダブルクリックし、表示されたCD-ROMのアイコンを右クリックして、メニューの「開く」を選択します。CD-ROM に収録されているフォルダが表示されます。

❹「DPHS_64k」フォルダをダブルクリックし、「MORE ソフトの使いかた.txt」ファイルの説明に従って「ドコモPHS 64kドライバーソフト Ver1.32」を MI-P1/MI-P2 シリーズにダウンロードしてください。

パソコンにRealJukeboxをインストールする

RealJukebox をインストールする前に確認してください

●パソコンの CD-ROM ドライブは RealJukebox に対応していますか？（10 ページの「必要な動作環境」をご覧ください。）

●パソコンで使用中のアプリケーションソフトはすべて終了させましたか？

●すでにRealJukebox Basic（Ver.1)もしくはRealJukebox Plus(Ver.1)をお持ちの方は、RealJukeboxをインストールする必要はありません。21 ページの「**ザウルスプラグイン for RealJukebox をインストールする**」を実行した後、22 ページの「**RealJukebox Basic または RealJukebox Plus をお持ちの場合**」の手順を行ってください。

●インストールの完了に続いて、インターネットでオンライン登録などを行いますので、インターネットに接続できる準備をしておいてください。

1 パソコンのCD-ROM ドライブに、付属 CD-ROM を入れます。

しばらくすると、「インストール選択」画面が表示されます。

2 画面中央の「お読み下さい」ボタンをクリックします。

表示された内容を読み、読み終わったらメモ帳を終了してください。

3 「RealJukebox Basicをパソコンにインストール」ボタンをクリックします。

4 [次へ] をクリックします。



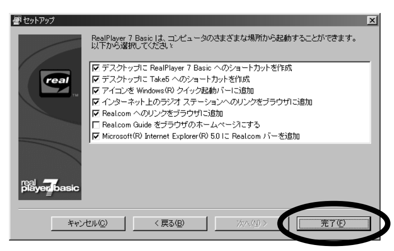
5 ライセンス契約の内容を確認し、[承諾] をクリックします。



6 **インストール先を確認し、[次へ]をクリックします。**



7 **インストールされる内容を確認し、[完了]をクリックします。**



自動的にRealPlayerのインストールが始まります。

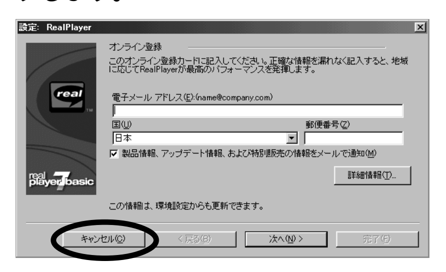


RealPlayerのインストールが終わると、続いてRealJukeboxのインストールが自動的に始まります。



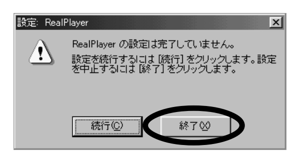
インストールが完了すると、RealPlayerのオンライン登録ウィザードが自動的に起動します。

8 ここでは後で登録することにして、[キャンセル] をクリックします。



メモ オンライン登録は後から行うことができます。登録する場合は、RealPlayer をもう一度起動してください。
オンライン登録ウィザードが表示されます。

9 [終了] をクリックします。



続いて自動的にインターネットに接続し、WWWブラウザが立ち上がります。

10 インターネットを終了します。

11 RealPlayer を終了します。

「インストール選択」画面はそのままにしておきます。



「サポートされているメディアタイプの中に、RealPlayer がデフォルトのプレイヤでないものがあります。修正しますか？」と表示された場合、パソコン上で音楽の再生を常に RealPlayer で行うときには [はい] をクリックします。

ザウルスプラグイン for RealJukebox をインストールする

1 **「インストール選択」画面で、画面右下の「お読み下さい」ボタンをクリックします。**

表示された内容を読み、読み終わったらメモ帳を終了してください。

2 **「ザウルスプラグイン for RealJukebox をパソコンにインストール」をクリックします。**

3 **「OK」をクリックします。**

4 **「インストール選択」画面で、[中止] ボタンをクリックして閉じ、付属 CD-ROM を取り出し、保管します。**

RealJukebox の設定を変更する

ザウルスプラグインを組み込む

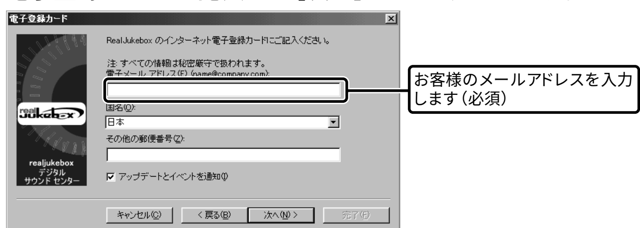
すでにRealJukebox Basic(Ver.1)またはRealJukebox Plus(Ver.1)をインストール済みの方は、次ページの「**RealJukebox Basic または RealJukebox Plus をお持ちの場合**」をご覧ください。

1 **デスクトップ上の「RealJukebox」アイコンをダブルクリックして、RealJukebox を起動します。**

RealJukebox の設定ウィザードが自動的に起動します。

2 **[次へ] をクリックします。**

3 **電子登録カードに記入し、[次へ] をクリックします。**



4 **「ポータブルサウンドプレーヤー」画面で [はい] にチェックマークを入れ、[次へ] をクリックします。**

5 **[SHARP ザウルス（MP3 プレーヤー）] を選択し、[次へ] をクリックします。**

6 **[完了] をクリックします。**

7 **画面の指示に従い、RealJukeboxをデフォルトプレーヤーにするかどうかを設定します。**

RealJukebox Basic または RealJukebox Plus をお持ちの場合

❶「RealJukebox」アイコンをダブルクリックして、RealJukeboxを起動します。
❷「オプション」-「環境設定」をクリックして、[ポータブルサウンド プレーヤー] タブをクリックします。
❸ [追加] をクリックします。
「ポータブルサウンドプレーヤーの追加」ダイアログボックスが表示されます。
❹ [SHARP ザウルス（MP3 プレーヤー）] をクリックして、[OK] をクリックします。
「インストールされているデバイス」欄に、[ＳＨＡＲＰ ザウルス（MP3 プレーヤー）] が追加されます。
❺ [OK] をクリックします。

環境設定を変更する（重要）

1 **「RealJukebox」アイコンをダブルクリックして、RealJukebox を起動します。**

2 **「オプション」-「環境設定」をクリックします。**
「環境設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 **以下のように設定を変更します。**

- **[一般] タブ：**初期設定では、CDを挿入すると自動的に全曲の録音を行うように設定されています。そうしたくない場合は、[CDの録音開始] をクリックして、チェックをはずします。
- **[エンコーディングオプション] タブ：**❶「フォーマットを選択」から、[MP3 オーディオ] をクリックして選びます。
「MP3 オーディオ」以外で録音したデータもザウルスに転送して再生することができますが、「MP3オーディオ」を選択することを推奨します。
❷「セキュアファイル」の[エンコード時サウンドファイルをセキュアに] にチェックマークが付いていることを確認します。
- **[CD ドライブオプション] タブ：**お使いのパソコンの CD-ROM ドライブのタイプを選択します。
わからない場合は「標準」のままに設定しておいてください。
音楽 CD から録音できない場合は「その他の種類」をクリックしてチェックし、CD-ROM ドライブのタイプを選択して設定してください。

4 **[OK] をクリックします。**

音楽データを転送する

録音から再生までの操作のながれ

付属のRealJukeboxと「MP3 プレーヤー」MOREソフトで音楽CDを録音して再生するには、以下のような操作が必要になります。
著作権を保護するために、以下のような流れで操作しないと「MP3 プレーヤー」MOREソフトで、MP3ファイルの再生を楽しむことはできない仕組みになっています。

1 ザウルス側の「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを使って、カードに音楽著作権保護情報を記録します。（次ページ）

付属のRealJukeboxでは、音楽著作権保護情報が記録されていないカードには、著作権保護のためMP3ファイルが記録できないようになっています。

2 付属の（ザウルスプラグイン付きの）RealJukebox で、音楽 CD から MP3 ファイルを作ります。（25 ページ）

3 カードをパソコンまたはザウルスに装着して、録音したMP3 ファイルをカードに転送します。（28 ページ）

著作権保護のため、「MP3 プレーヤー」MOREソフトでMP3ファイルを再生するには、手順**1**で音楽著作権保護情報を記録したカードを使用しなければなりません。

4 カードをザウルスに装着して、MP3 ファイルを「MP3 プレーヤー」MORE ソフトで再生します。（33 ページ）

付属の（ザウルスプラグイン付きの）RealJukeboxでカードに転送したMP3ファイル以外は、著作権保護のため「MP3 プレーヤー」MOREソフトでは再生できません。



音楽CDからの録音時、お使いのパソコンによっては、雑音が混じる場合があります。

カードに音楽著作権保護情報を記録する

付属のRealJukeboxでは、音楽著作権保護情報（独自方式）が記録されていないカードには、著作権保護のためMP3ファイルを転送できないようになっています。
以下の手順で、ザウルス側でカードに音楽著作権保護情報を記録してください。

1 ザウルスの電源を切り、MP3ファイルを記録したいカードをザウルスに装着します。

カードの装着方法は、お使いのザウルスの取扱説明書をご覧ください。

2 ザウルスの電源を入れます。

3 「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを実行します。

❶「MP3 プレーヤー」アイコンのあるMOREインデックス画面を表示します。
❷「MP3 プレーヤー」アイコンにタッチします。

「MP3プレーヤー」MOREソフトが起動し、取り付けたカードに音楽著作権保護情報が記録されます。

メモ
カードをパソコンに装着して音楽データを転送するときには、手順**3**の後、ザウルスの電源を切ってカードを取り出します。取り出し方は、お使いのザウルスの取扱説明書をご覧ください。

音楽データ（MP3 ファイル）を作る

音楽 CD から録音する

音楽CDのデータファイルをMP3ファイルに変換して、ハードディスクに保存します。

RealJukebox で音楽 CD を録音する前に確認してください

●パソコンの CD-ROM は RealJukebox の動作に対応していますか？（10 ページの「必要な動作環境」をご覧ください。）

●ノートパソコンをお使いの場合、省電力機能は「切」になっていますか？

●他のソフトをすべて終了し、スクリーンセーバーも動作させない設定になっていますか？

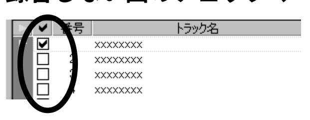
1　デスクトップ上の「RealJukebox」アイコンをダブルクリックして、RealJukebox を起動します。

2　［CD を録音 / 再生］をクリックします。

3　CD-ROM ドライブに、音楽 CD をセットします。

曲の一覧が表示されます。

4　録音しない曲のチェックマークをはずします。



5　（録音）ボタンをクリックします。

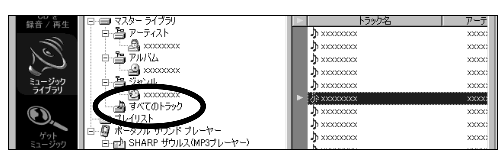
選んだ曲の録音が始まります。安定して録音が行われるように、録音中はパソコン上で、できるだけ他の操作をしないようにしてください。



メモ　録音した音楽データ（MP3ファイル）は通常、Cドライブの「My Music」フォルダに保存されます。

6　録音が終わったら、（ミュージックライブラリ）をクリックします。

7　「すべてのトラック」をクリックし、録音した曲を表示させます。



8　録音した曲をクリックして選んでから、（再生）をクリックします。

録音した曲が再生されるので、正しく録音されているかどうか確かめてください。



（録音）ボタンをクリックしたときに「アナログ録音します」というメッセージが表示されたときは、以下の手順でRealJukeboxの設定を変更してください。

❶ RealJukeboxの［オプション］メニューから［環境設定］を選びます。

❷ ［CDドライブオプション］タブの［その他の種類］をクリックし、ドライブの一覧からお使いのCD-ROMドライブを指定します。CD-ROMドライブの種類がお分かりにならない場合は、1つずつ選択して試してください。

❸ ［録音オプション］タブをクリックし、「録音方法」が「デジタル」になっていることを確認します。

❹ ［OK］をクリックします。

録音の音質（ビットレート）とファイルの大きさについて

音質を上げると、録音されたMP3ファイルの容量は大きくなります。そのため、高音質でたくさんの曲を楽しみたいときは、大容量のカードが必要になります。逆に、音質よりも長時間いろいろな曲を楽しむことを優先したいときは、ビットレートを下げてファイルの容量を小さくすることで、カードにたくさんの曲を入れて持ち歩けるようになります。

録音時の音質を変更したいときは、［オプション］－［環境設定］で表示される［エンコーディングオプション］タブをクリックして、［クオリティレベルを選択］欄で好みの音質を選びます。

ビットレートの数字が大きいほど、高音質になります。

インターネットから音楽データを取り込む

インターネットから音楽データを取り込む前に確認してください

●パソコンはインターネットに接続できるようになっていますか？Sharp Space Townなどのインターネットサービスプロバイダーと契約して必要な設定を行い、インターネットに接続できる準備を整えてください。

●学校や職場などのネットワークでパソコンをお使いの場合、ネットワークの管理設定（ファイヤウォールなどの設定）によっては、音楽配信サイトに接続できない場合があります。

●インターネットに接続できないときには、「オプション」ー「環境設定」をクリックし、「インターネットの設定」タブで「Webプロキシ設定」の内容を設定し直してみてください。

●その他の制限や情報などについてくわしくは、RealJukeboxのヘルプやオンラインマニュアルをご覧ください。

1 **デスクトップ上の「RealJukebox」アイコンをダブルクリックして、RealJukebox を起動します。**

2 **ゲット ミュージック をクリックします。**

「ゲットミュージック」画面が表示されます。なお、「ゲットミュージック」画面が表示されるまでには、少し時間がかかることがあります。

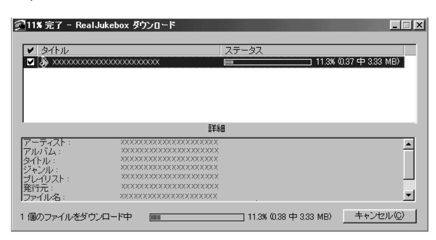
3 **好みの音楽配信サイトをクリックし、音楽データをダウンロードします。**

画面は一例で、実際のものとは異なります。
音楽配信サイトを選んだり、[ダウンロード]をクリックしたりするとインターネットに接続を開始します。



※画面は一例です。





ダウンロードが完了すると、自動的に再生が始まります。

途中で止めるには、（停止）ボタンをクリックします。



インターネットからダウンロードしたMP3ファイルは、再生できないなどの制限が生じる場合があります。



（ミュージックライブラリ）をクリックすると、RealJukeboxで管理している曲の一覧を確認できます。
ダウンロードした音楽データ（MP3ファイル）は通常、Cドライブの「My Music」フォルダに保存されます。

音楽データをカードに転送する

音楽データ（ＭＰ３ ファイル）をカードに転送するには「パソコンのＰＣカードスロットを使ってカードに転送する」方法と「パソコンからザウルスに装着のカードに転送する」方法の２通りがあります。

ザウルスプラグインを設定する

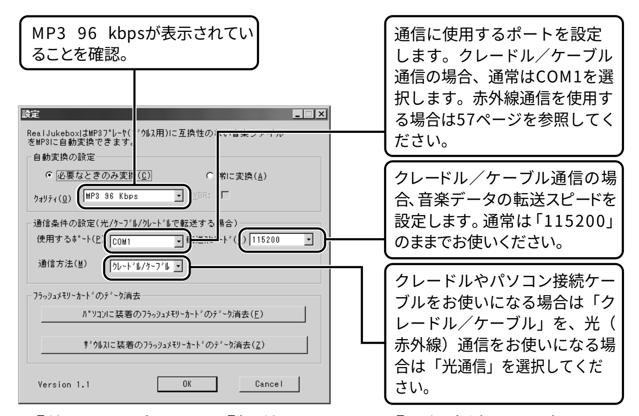
1 **デスクトップ上の「RealJukebox」アイコンをダブルクリックして、RealJukebox を起動します。**

2 **「オプション」-「環境設定」をクリックします。**

3 **「ポータブルサウンドプレーヤー」タブをクリックします。**

4 **[SHARP ザウルス（MP3 プレーヤー）] を選択し、[設定] をクリックします。**

5 **各項目を設定します。**



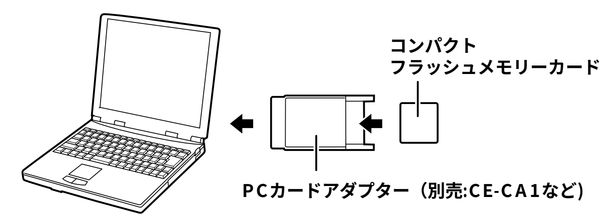
※「使用するポート」、「転送スピード」、「通信方法」の設定はザウルスに装着のカードに MP3 ファイルを転送する場合に必要です。

6 **[OK] をクリックします。**

パソコンの PC カードスロットを使ってカードに転送する

1 **音楽著作権保護情報が記録されたコンパクトフラッシュメモリーカード（☞24 ページ）をパソコンに装着します。**

● PCカードスロットに装着するには、コンパクトフラッシュメモリーカード用の PC カードアダプターをお使いください。



2 **デスクトップ上の「RealJukebox」アイコンをダブルクリックして、RealJukebox を起動します。**

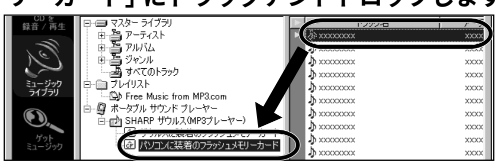
3 をクリックします。

4 「すべてのトラック」をクリックし、転送したい曲を表示させます。

5 「ポータブルサウンドプレーヤー」の左側の⊞をクリックし、続いて「SHARPザウルス（MP3プレーヤー）」の左側の⊞をクリックします。

しばらくして「通信が確立していません」のメッセージが出たときには［OK］をクリックします。

6 転送したい曲を選び（複数選択可）、「SHARPザウルス（MP3プレーヤー）」の下にある「パソコンに装着のフラッシュメモリーカード」にドラッグアンドドロップします。



7 「パソコンに装着のフラッシュメモリーカード」をクリックします。

右側の欄にドラッグアンドドロップした曲が表示され、「転送のステータス」が「転送準備完了」になっていることを確認してください。

8 「転送開始」ボタンをクリックします。

音楽データ（MP3ファイル）がカードに転送され、転送が終了すると、「転送のステータス」が「プレーヤー上」に変わります。

9 カードを抜き出します。

急にカードを抜き出すと、カードに記録されたデータが破損したり、カードの故障の原因となります。カードを抜き出す前に、カードを抜き出すために必要な操作を行ってください。カードを取り出す方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

10 ザウルスの電源を切ってから、カードをザウルスに装着します。

この後「ザウルスで音楽を楽しむ」（☞33ページ）に進んでください



音楽著作権保護情報が記録されていないカードに、MP3ファイルを転送しようとするとエラーメッセージが表示されます。
この場合は、パソコンからカードを取り出し、24ページの手順にしたがって、カードに音楽著作権保護情報を記録してください。

パソコンからザウルスに装着のカードに転送する

パソコンからザウルスに装着したカードに転送する前に確認してください

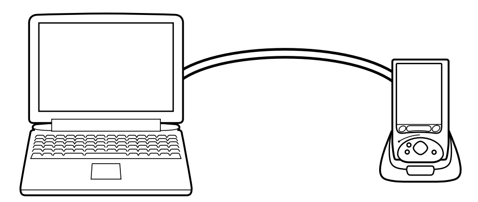
●ザウルスパワーコネクションやPowerPIMM、FAX受信ソフトなど、パソコン側で通信ポートを占有するソフトの「接続待機状態」や「自動通信状態」を解除し、すべて終了させましたか？

●ザウルスの電池は消耗していませんか？
消耗している場合は充電池を充電するか、新しい電池に交換してください。



パソコン連携ソフト（ザウルスパワーコネクション）などを使って、MP3 ファイルをカードに転送することはできません。
必ず RealJukebox を使って転送してください。

1　パソコンとザウルスを接続します。（☞12 ページ）



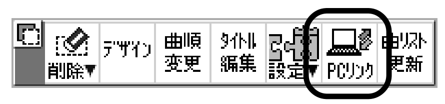
2　ザウルスの電源を切り、カードを装着します。

3　デスクトップ上の「RealJukebox」アイコンをダブルクリックして、RealJukebox を起動します。

4　［ミュージックライブラリ］をクリックします。

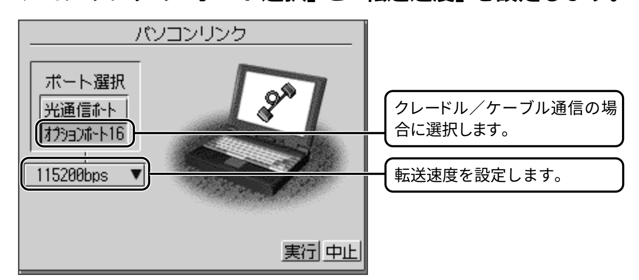
5　ザウルスの電源を入れ、「MP3プレーヤー」MOREソフトを起動します。

6　［操作メニュー］キーにタッチし、表示された操作メニューから［PC リンク］にタッチします。



パソコンリンク画面が表示されます。

7 **28ページで設定したザウルスプラグインの設定に合わせて、パソコンリンクの「ポート選択」と「転送速度」を設定します。**



8 **［実行］にタッチします。**

9 **RealJukeboxで「すべてのトラック」をクリックし、転送したい曲を表示させます。**

10 **「ポータブルサウンドプレーヤー」の左側の⊞をクリックし、続いて「SHARPザウルス（MP3プレーヤー）」の左側の⊞をクリックします。**

11 **転送したい曲を選び（複数選択可）、「SHARPザウルス（MP3プレーヤー）」の下にある「ザウルスに装着のフラッシュメモリーカード」にドラッグアンドドロップします。**

12 **「ザウルスに装着のフラッシュメモリーカード」をクリックします。**

右側の欄にドラッグアンドドロップした曲が表示され、「転送のステータス」が「転送準備完了」になっていることを確認してください。

13 **［転送開始］ボタンをクリックします。**

音楽データがカードに転送され、転送が終了すると、「転送のステータス」が「プレーヤー上」に変わります。

この後「ザウルスで音楽を楽しむ」（☞次ページ）に進んでください

メモ

音楽著作権保護情報が記録されていないカードにMP3ファイルを転送しようとすると、エラーメッセージが表示されます。
この場合は、ザウルスの電源を切ってカードを取り出し、24ページの手順に従ってカードに音楽著作権保護情報を記録してください。

音楽を再生する

ザウルスで音楽を楽しむ

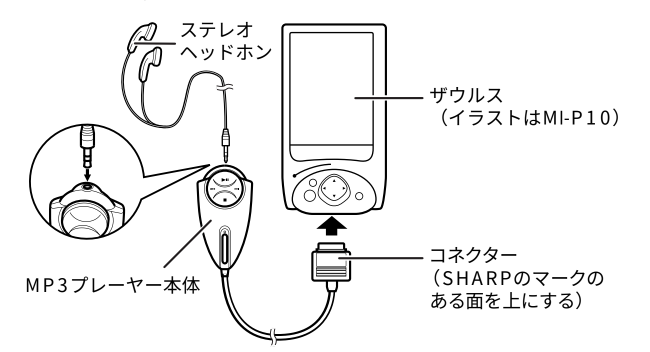
ザウルスで操作する

ザウルスで音楽を楽しむ前に確認してください

ザウルスに新しい乾電池、または完全に充電された充電池が入っていますか？ MP3 ファイルの再生中は電池の消耗が早くなりますので、電池や充電池の使用時間には十分ご注意ください。特にMI-310ではフロントライトを消灯してください。

1 電源を切った状態で、ザウルスに、音楽データ（MP3ファイル）の入ったカードを装着します。

2 ザウルスに、MP3 プレーヤー本体とステレオヘッドホンをつなぎます。



固定アタッチメントを装着する（MI-P10）

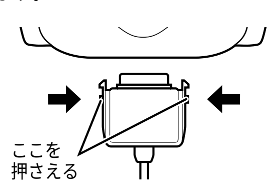
MI-P10では、付属の固定アタッチメントを用いて、コネクターを固定できます。

❶ 固定アタッチメントを本機のコネクターに装着します。

❷ MI-P10 のオプションポート 16 へ接続します。

固定アタッチメントを取り外す

固定アタッチメントの横にあるツメを押さえながらオプションポート 16 より取り外します。



3 **ザウルスの電源を入れます。**

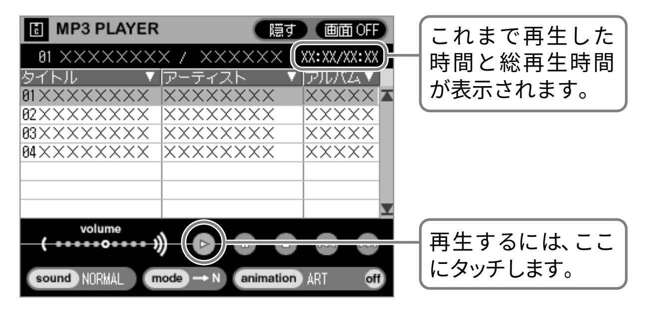
4 **「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを実行します。**

❶「MP3 プレーヤー」アイコンのある MORE インデックス画面を表示します。(☞15 ページ)

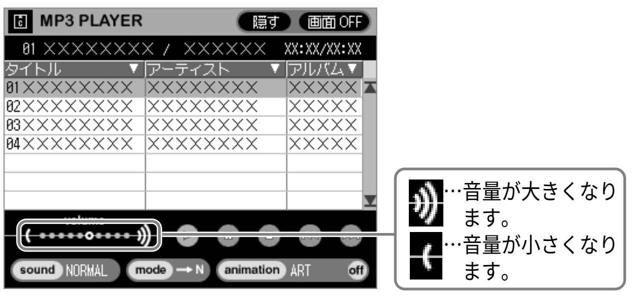
❷「MP3 プレーヤー」アイコンにタッチします。

5 **ステレオヘッドホンを耳に装着し、聞きたい曲にタッチして選びます。**

6 **再生を始めます。**



7 **画面にタッチして音量を調整します。**



選んだ曲から最後の曲まで、順に再生して自動停止します。

途中で再生を止めるには	■	
一時停止するには	II	
再開するには	▷	
曲の始めに戻したり、前の曲、次の曲に移るには	I◀◀	**(曲戻し / 巻戻し)**
巻戻し、早送りするには (☞48 ページ)	▶▶I	**(曲送り / 早送り)**

■「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを終了するには

❶ MORE ソフト画面を表示させます。(☞15 ページ)

❷「MP3 プレーヤー VerXX」にタッチして、[停止] にタッチします。



- 本機では、著作権保護の目的から、お手持ちのカードに転送した音楽データは、他のカードやパソコンにコピーしても再生できない仕組みになっています。
- 文庫ビューアで読書をしたり、マンガビューアでマンガを楽しみながら音楽を再生し、楽しむことができます。
- 長時間使用しないときは、MP3プレーヤー本体をザウルスから取り外し、ソフトケースに収納して保存してください。

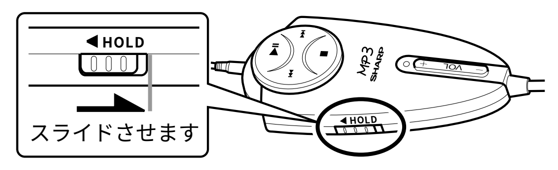
リモコン(MP3 プレーヤー本体)で操作する

ザウルスで音楽を楽しむ前に確認してください

- ザウルスに新しい乾電池、または完全に充電された充電池が入っていますか? MP3ファイルの再生中は電池の消耗が早くなりますので、電池や充電池の使用時間には十分ご注意ください。
- ザウルスに音楽データ(MP3 ファイル)の入ったカードを装着していますか?

1 ザウルスに、MP3プレーヤー本体とステレオヘッドホンをつなぎます。(☞33 ページ)

2 ホールド状態を解除します。



3 ザウルスの電源を入れます。

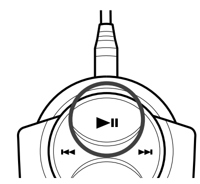
音楽を再生する

4 「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを実行します。

❶「MP3 プレーヤー」アイコンのある MORE インデックス画面を表示させます。(☞15 ページ)

❷「MP3 プレーヤー」アイコンにタッチします。

5 [▶II] ボタンを押します。



選択した曲から最後の曲まで、順に再生して自動停止します。
再生中は、状態表示ランプが点灯します。



ザウルスMI-P10、MI-P1/P2シリーズ、MI-J1、MI-C1、MI-EX1では[▶II]ボタンを押すと、自動的にザウルスの電源が入り、再生が始まります。また、再生を停止したあと、約3分の間はMP3プレーヤー本体（リモコン）を使って操作することができます。MP3プレーヤー本体（リモコン）での操作が可能な場合は、状態表示ランプが点灯しています。

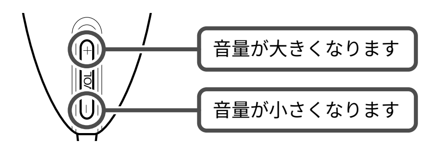


MI-310は、[▶II]ボタンを押してもザウルスの電源は入りません。MI-310 をお使いの場合は次の手順に従って操作してください。

❶ ザウルスに、MP3プレーヤー本体とステレオヘッドホンをつなぎます。
❷ ホールド状態を解除します。
❸ ザウルスの電源を入れます。
❹「MORE」キーにタッチし、「MP3プレーヤー」アイコンにタッチします。
❺ [▶II] ボタンを押します。

また、再生を停止したあと、約3分間の間はMP3プレーヤー本体（リモコン）を使って操作することができます。MP3プレーヤー本体（リモコン）での操作が可能な場合は状態表示ランプが点灯しています。

6 [VOL] ボタンを押して、音量を調整します。

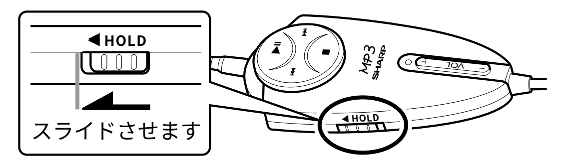


途中で再生を止めるには	■
一時停止するには	▶II
再開するには	▶II
曲の始めに戻したり、前の曲、次の曲に移るには **巻戻し、早送りするには**（☞48 ページ）	**I◀◀（曲戻し / 巻戻し）** **▶▶I（曲送り / 早送り）**



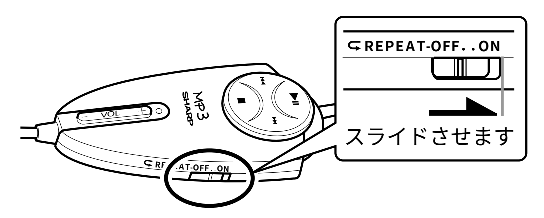
リモコンのボタンの操作がときどき効かないときは
リモコンのボタンを押している時間が短いと、そのボタンに対して反応しない場合があります。リモコンを操作するときは、反応があるまで少し長めにボタンを押すようにしてください。

■ホールド機能について

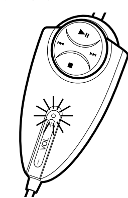


ホールド状態にしておくと、誤ってボタンが押され、急に再生が始まったり、知らない間に電池が消耗したりすることを防げます。

■リピート機能について
リピートスイッチを ON にすると、再生中の曲を繰り返し再生します。



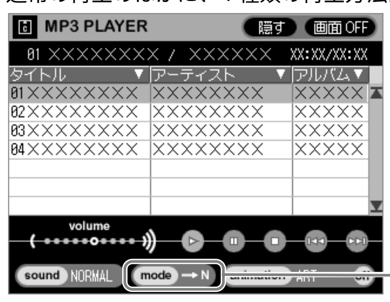
■状態表示ランプが点滅しているときは



ザウルスの電池残量が少なくなっています。新しい乾電池と交換するか、充電池を充電してください。

いろいろな再生方法で楽しむ

通常の再生のほかに、4 種類の再生方法があります。



再生方法を選択するには［mode］にタッチします。
タッチするたびに再生方法が切り替わります。

■最初から順に再生する（ノーマル）

❶［mode］にタッチして、→ N を選びます。
❷ ▷ にタッチします。
全曲を選んだ曲から順に再生し、自動停止します。
途中で停止するには、□ にタッチします。

■順不同に再生する（ランダム）

❶［mode］にタッチして、→ R を選びます。
❷ ▷ にタッチします。
全曲を順不同に再生し、自動停止します。
途中で停止するには、□ にタッチします。

■順不同に繰り返し再生する（ランダム・リピート）

❶［mode］にタッチして、↻ R を選びます。
❷ ▷ にタッチします。
全曲を繰り返し、順不同に再生します。
停止するには、□ にタッチします。

■繰り返し再生する（リピート）

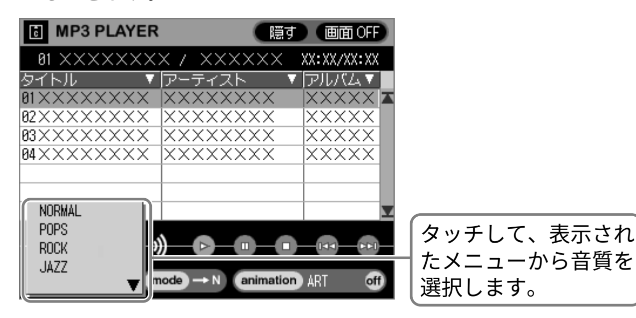
❶［mode］にタッチして、↻ を選びます。
❷ ▷ にタッチします。
全曲を繰り返し再生します。
停止するには、□ にタッチします。

■ 1 曲を繰り返し再生する（1 曲リピート）

❶ 繰り返す 1 曲を選びます。
❷［mode］にタッチして、↻ 1 を選びます。
❸ ▷ にタッチします。
選んだ曲を繰り返し再生します。
停止するには、□ にタッチします。

好みの音質を選ぶ

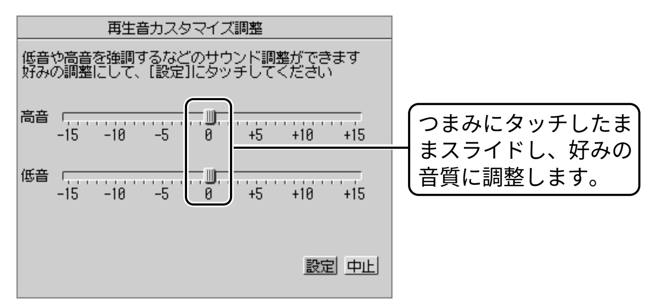
通常の音質（ノーマル）のほかに、あらかじめ用意されている6種類のなかから、好みの音質を選べます。再生する音楽のジャンルに合わせて切り替えると便利です。
「カスタマイズ設定」で好みの音質に調整し、「CUSTOM」に登録することもできます。



■好みの音質に調整する（カスタマイズ）

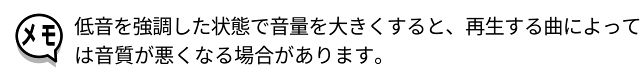
❶ ［sound］にタッチして、表示されたメニューから［カスタマイズ設定］を選びます。

❷ 低音・高音を好みに合わせて調整します。（音楽を聞きながら調整することができます。）



❸ ［設定］にタッチします。

設定した音質は「CUSTOM」に登録され、「CUSTOM」を選ぶと設定した音質で音楽が再生されます。

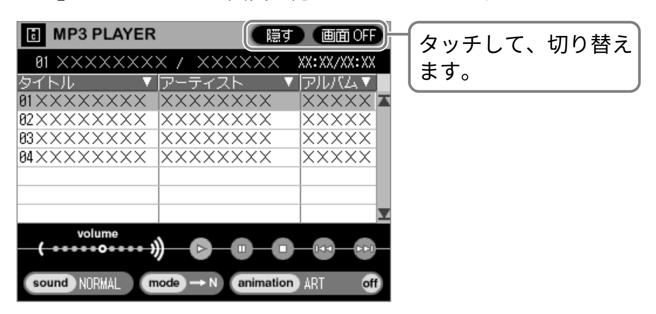


低音を強調した状態で音量を大きくすると、再生する曲によっては音質が悪くなる場合があります。

再生中の表示を切り替える

「MP3 プレーヤー」MORE ソフトの画面を隠す

音楽を聞きながら、ザウルスでほかのことができるように、「MP3プレーヤー」MORE ソフトの画面を隠すことができます。



■「MP3 プレーヤー」MORE ソフトの画面を隠すには

［隠す］にタッチします。

元に戻すには

「MORE インデックス」画面から、「MP3 プレーヤー」アイコンにタッチします。

■画面に何も表示させないときには

［画面 OFF］にタッチします。

純粋に音楽だけ楽しみたい、というときに使用します。

表示部にフロントライトやバックライトの付いているザウルスでは、省電力効果もあります。

元に戻すには

画面にタッチします。

表示項目を切り替える

表示させたい項目を選べます。
表示項目の欄にタッチし、表示されたメニューから表示したい項目を選びます。



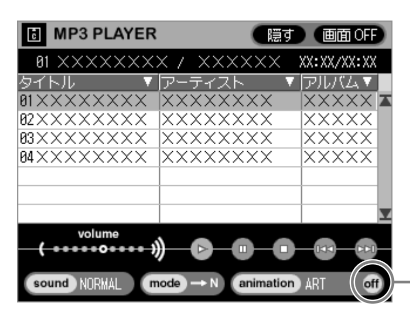
■タイトル
音楽データ（MP3 ファイル）のタイトル（曲名）を表示します。
■アーティスト
音楽データ（MP3 ファイル）のアーティスト名を表示します。
■アルバム
音楽データ（MP3 ファイル）が収録されていた CD のアルバム名を表示します。
■再生時間
音楽データ（MP3 ファイル）の再生時間を表示します。
■ファイル名
音楽データ（MP3 ファイル）のファイル名を表示します。
■容量
音楽データ（MP3 ファイル）のファイル容量を「KB」で表示します。

表示幅を変更する

表示幅を調整して、最大 3 項目まで同時に表示できます。
区切り線にタッチしたままペンを左右にスライドさせ、表示幅を変更します。

再生中のアニメーションを入／切する

再生中にアニメーションを表示できます。
アニメーション表示をしていると、電池の消耗が早くなりますので、電池や充電池の使用時間には十分ご注意ください（**☞60 ページ****）。**

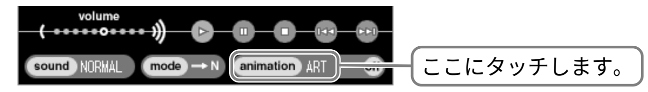


ここにタッチして切り替えます。
●「on」
音楽を再生中、画面にアニメーションを表示します。
●「off」
アニメーションを表示しません。

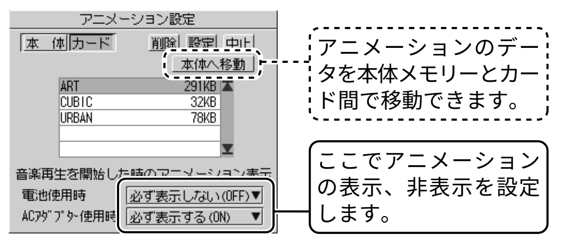
アニメーション表示の設定を変更する

音楽再生時にアニメーション表示をするか、しないかを、電池使用時と、AC アダプター使用時とに分けて設定することができます。
また、アニメーションのデータを本体メモリーとカードとの間で移動させることができます。

1　[animation] にタッチします。



2　アニメーションの表示、非表示を設定し、[設定] にタッチします。



■必ず表示する（ON）

音楽を再生したときに、必ずアニメーションを表示します。「MP3プレーヤー」MOREソフト画面の off ボタンで表示をoffすることもできますが、いったんザウルス本体の電源を切ったり、

音楽を再生する

他の機能の画面に切り替えたりしたあと、「ＭＰ３ プレーヤー」MOREソフト画面にし、音楽を再生した時には、アニメーションを表示する設定に戻ります。

■必ず表示しない（OFF）

音楽を再生したときに、アニメーションを表示しません。「MP3 プレーヤー」MORE ソフト画面の  ボタンで表示を on することもできますが、いったんザウルス本体の電源を切ったり、他の機能の画面に切り替えたりしたあと、「MP3 プレーヤー」MORE ソフト画面にし、音楽を再生した時には、アニメーションを表示しない設定に戻ります。

■前回の表示に従う

前回「MP3プレーヤー」MOREソフトを使用していたときの設定に戻ります。

メモ

「MP3プレーヤー」ＭＯＲＥソフトを本体メモリーにインストールすると、アニメーションのデータも本体メモリーに入ります。本体メモリーの空きが少ないときには、これらのデータをカードに移動することができます。

アニメーションデータを本体メモリーからカードに移動するには、上記のアニメーション設定画面で[本体]にタッチした後、移動したいデータを選択して[カードへ移動]にタッチします。カードから本体メモリーに移動したいときには、[カード]にタッチしてからデータを選択し、[本体へ移動]にタッチします。

なお、本体メモリーとカード間でのデータの移動は、下記「画面デザインを切り替える」で説明の画面デザインのデータでも同様の操作でできます（ただし「スタンダード」は移動も削除もできません）。

ご注意:「MP3 プレーヤー」ＭＯＲＥソフトを削除するときには、「ＭＰ３ プレーヤー」ＭＯＲＥソフトがある側にそれらのデータをすべて移動したうえで削除してください。

アニメーションを切り替える

好みのアニメーションを選べます。

1 [animation] にタッチします。

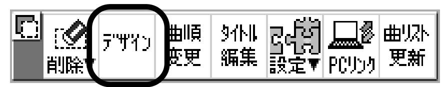
2 アニメーション設定画面で、好みのアニメーションを選び、[設定] にタッチします。

画面デザインを切り替える

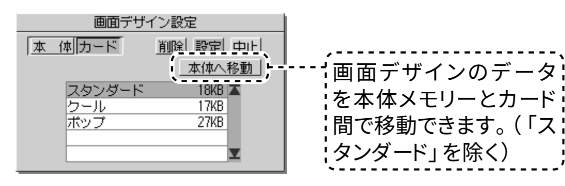
3 種類の画面デザインから選べます。

1 [操作メニュー] キーにタッチします。

2　[デザイン] にタッチします。



3　画面デザインをタッチして選び、[設定] にタッチします。

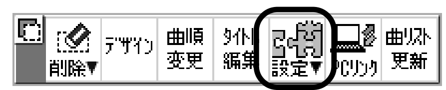


再生開始画面を設定する(MI-310 は除く)

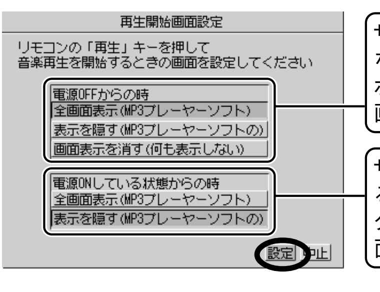
電源「切」の状態から、MP3 プレーヤー本体（リモコン）の [▶II]（再生）ボタンを押したときに、最初に表示される画面を設定します。

1　[操作メニュー] キーにタッチします。

2　[設定▼] にタッチして、表示された設定メニューから [開始画面] を選びます。



3　再生開始画面を選び、[設定] にタッチします。



ザウルスの電源が入っていない状態で [▶II]（再生）ボタンを押したときの開始画面を設定します。

ザウルスの電源が入っている状態で [▶II]（再生）ボタンを押したときの開始画面を設定します。



● MI-310 では、この機能は使用できません。
● MI-310 以外の機種でも、「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを停止させると、MP3 プレーヤー本体の [▶II] ボタンで再生することはできません。「MP3プレーヤー」MOREソフトは実行した状態にしておいてください。

曲やタイトルを編集する

曲順を入れ替える

1 [操作メニュー] キーにタッチします。

2 [曲順変更] にタッチします。



3 曲順を変えます。

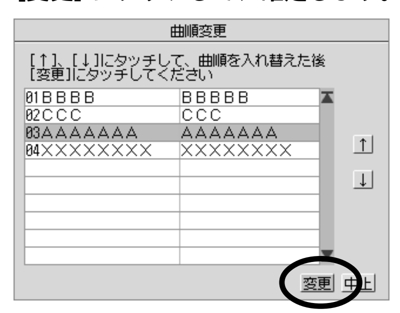


❶移動する曲にタッチします。

❷[↓] または [↑] にタッチして、移動します。

同じ操作を繰り返し、曲順を変更します。

4 [変更] にタッチして、確定します。

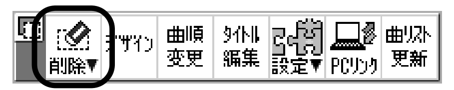


聞かなくなった曲を削除する

1 **[操作メニュー] キーにタッチします。**

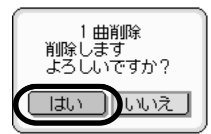
2 **1曲だけ削除したい場合は、削除したい曲にタッチして、選択します。**

3 **[削除▼] にタッチして、表示された削除メニューから「1曲」または「全曲」を選びます。**

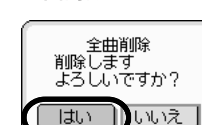


4 **確認のメッセージが表示されたら、[はい] にタッチします。**

1 曲削除のとき



全曲削除のとき





複数の曲を削除するときは、1 曲削除の操作を繰り返します。

RealJukebox で音楽データを削除する

コンパクトフラッシュメモリーカードの中の音楽データはRealJukebox でも削除することができます。(全曲削除)

❶ ミュージックライブラリの画面で、「ポータブルサウンドプレーヤー」の左側の⊞をクリックします。

❷ [SHARPザウルス(MP3プレーヤー)]をクリックして選択します。(しばらくして「通信が確立していません」のメッセージが表示されたときには [OK] をクリックします。)

❸ [設定] をクリックします。
設定画面が表示されます。

❹ 「パソコンに装着のフラッシュメモリーカードのデータ消去」または「ザウルスに装着のフラッシュメモリーカードのデータ消去」をクリックします。

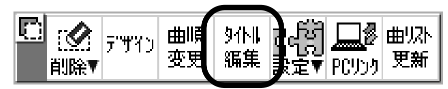
❺ [はい] をクリックします。
コンパクトフラッシュメモリーカードの中のMP3ファイルが消去されます。※ MP3 ファイル以外は削除されません。

タイトルを編集する

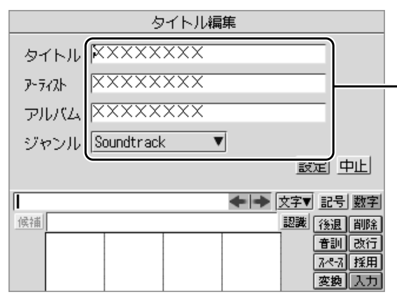
タイトル（曲名）、アーティスト、アルバム、ジャンルを変更できます。

1 **[操作メニュー] キーにタッチします。**

2 **[タイトル編集] にタッチします。**



3 **タイトル（曲名）・アーティスト・アルバムを変えたり、メニューからジャンルを設定し直します。**



タイトル（曲名）、アーティスト、アルバム、ジャンルを変更します。

4 **[設定] にタッチして、確定します。**



メモ　文字の入力・変換方法についてはザウルスの取扱説明書をご覧ください。

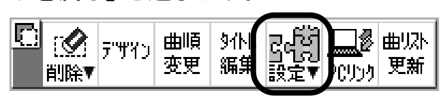
その他のいろいろな設定

曲送り／曲戻しから早送り／巻戻しに変更する

リモコンの曲送り／曲戻しボタン、「MP3 プレーヤー」MORE ソフト画面上の曲送り／曲戻しボタンおよびザウルス本体の左右のスクロールボタン（MI-310 を除く）の動作を、早送り／巻戻しに変更することができます。

1 **[操作メニュー] キーにタッチします。**

2 **[設定▼]にタッチして、表示された設定メニューから「早送り巻戻し」を選びます。**



3 **MP3 プレーヤー本体（リモコン）の [⏮（曲戻し）／⏭（曲送り）] ボタン、「MP3 プレーヤー」MORE ソフト画面上の ⏮（曲戻し）／ ⏭（曲送り）ボタン、およびザウルス本体の左右のスクロールボタン（MI-310 を除く）のそれぞれに対して、次の設定ができます。**

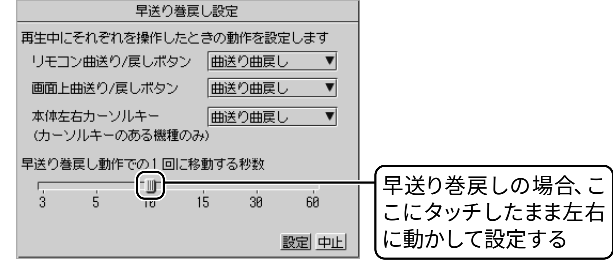
■曲送り曲戻し

各操作ボタンを操作すると、曲単位で送られたり戻ったりします。

■早送り巻き戻し

各操作ボタンを操作すると、再生中にその曲について早送りや巻戻しができます。ただし、早聴きはできません。

「早送り巻戻し」を選択したときは、早送り／巻戻しの1回の操作で送られる（または巻戻される）秒数を、つまみを動かして設定します。



4 **[設定] にタッチします。**

音量の各段階を微調整する

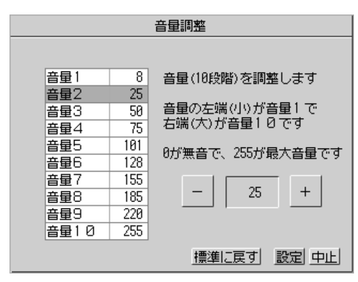
CE-AP1では、再生時の音量は10段階に調節できますが、「音量調整」設定により、それぞれの段階の音量を自由に設定することができます。
音量１～音量10は「MP3 プレーヤー」MORE ソフト画面上の音量の目盛りに対応しています。

1 [操作メニュー] キーにタッチします。

2 [設定▼]にタッチして、表示された設定メニューから「音量調整」を選びます。

3 「音量1」から「音量10」までの中で調節したい音量にタッチして選択し、それぞれの段階で ＋ または − にタッチして 0 ～ 255 の数字を設定します。

「0」は無音、「255」は最大音量です。[標準に戻す]にタッチすると初期値の設定に戻ります。



4 [設定] にタッチします。

その他の設定

次の 2 つの設定ができます。

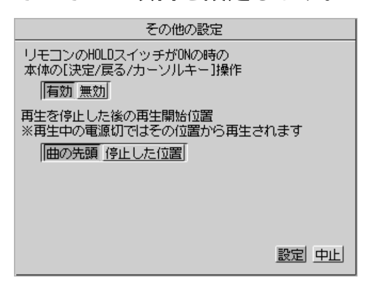
●リモコンのHOLDスイッチがONになっているとき、ザウルス本体のスクロールボタン、[戻る]ボタン、[決定]ボタンの「MP3プレーヤー」MORE ソフト上での操作を有効または無効にすることができます。（ただし、MI-310、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-J1では[戻る]ボタン/キーは常に「有効」になります。）

●再生を停止したとき、その後で再び再生を行ったときの開始位置を設定できます。曲の先頭または停止した箇所から再生を開始することができます。

1 **[操作メニュー] キーにタッチします。**

2 **[設定▼]にタッチして、表示された設定メニューから「その他」を選びます。**

3 **それぞれの項目を設定します。**



4 **[設定] にタッチします。**

曲リストを更新する

「MP3 プレーヤー」MORE ソフト画面上の曲リストの更新を行います。曲リストの更新とは、カードに入っている音楽データと曲リストとの間で、情報の整合性を保つための処理です。曲リストは自動的に更新されますので、通常この操作を行う必要はありません。しかし、たとえば、誤ってパソコンデータから音楽データを削除してしまったときなどは、実際の音楽データの情報と曲リストが一致しなくなります。そのようなときは、次の操作をしてください。

1 **[操作メニュー] キーにタッチします。**

2 **[曲リスト更新] にタッチします。**
曲リストが更新されます。

パソコンで音楽を楽しむ

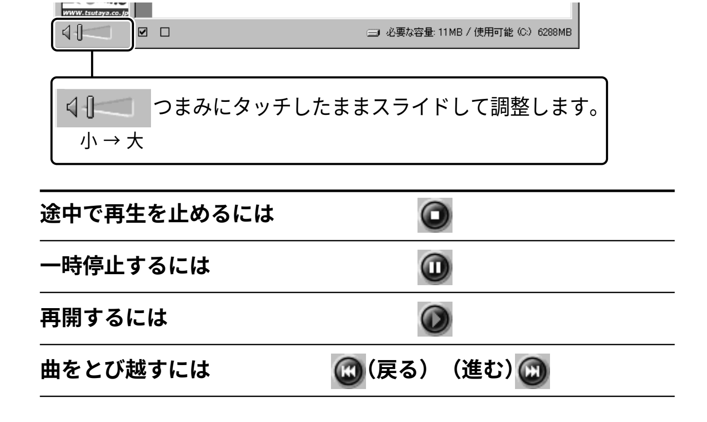
パソコンにインストールしたRealJukeboxは、多機能な音楽録音・編集・再生ソフトです。
ここでは例として、ザウルスで音楽を聞くために録音したMP3ファイルの再生のしかたについて紹介します。
このほかの機能についての詳細な説明は、RealJukeboxのヘルプまたはオンラインマニュアルをご覧ください。オンラインマニュアルを見るには、[スタート]－[プログラム]－[Real]－[RealJukebox Plus オンラインマニュアル]をクリックします。(Adobe Acrobat Reader が必要です。また、オンラインマニュアルの内容はRealJukebox Plus版に基づいた内容になっているため、付属のRealJukeboxではご利用いただけない機能についても記載されています。)

1 **「RealJukebox」アイコンをダブルクリックして、RealJukebox を起動します。**

2 **(ミュージックライブラリ アイコン) をクリックします。**

3 **再生したい曲をダブルクリックするか、曲を選んで(再生)ボタンをクリックします。**

4 **音量を調整します。**



途中で再生を止めるには	(停止ボタン)
一時停止するには	(一時停止ボタン)
再開するには	(再生ボタン)
曲をとび越すには	**(戻る)　(進む)**

光（赤外線）通信を利用する

光通信（IrDA）について

ザウルスは、IrDA方式の光（赤外線）通信に対応していますので、ノートパソコンなど、IrDA方式に対応した赤外線通信ポートを内蔵しているパソコンと光通信でデータのやり取りが行えます。



ザウルスの IrDA 方式の光通信機能は IrDA1.0 に準拠しており、IrDA1.0 および IrDA1.1 に対応した赤外線通信機能を持つパソコンと光通信が可能です（ただし、いずれの場合も通信速度は115kbps になります）。



- Windows 95 から Windows 98 にアップグレードしたパソコンでは、赤外線通信機能が正常に働かない場合があります。パソコンメーカーにお問い合わせください。
- PC-9800 シリーズパソコンとザウルスとの通信は、クレードルまたはケーブルを使って行ってください。PC-9800 シリーズパソコンに内蔵されている光通信ポートを使ってザウルスとの光通信はできません。

Windows 98 で光通信（IrDA）を利用するとき

光通信ポートを内蔵しているパソコンの場合

Windows 98 では、IrDA 方式の光通信機能がサポートされています。
お使いのパソコンが光通信機能を使用できる状態になっているかどうか確認してください。もし使用できない状態の場合は、使用できる状態に設定してください。設定方法については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

シャープノートパソコン「メビウス」を使用する場合

購入時にWindows 98がインストールされていたメビウスで「SHARP光通信ドライバ」がすでにインストールされている場合、「SHARP光通信ドライバ」を使うことで、IrDA 方式による光通信が可能になります。
Windows 95 から Windows 98 にアップグレードしたメビウスには、「SHARP IR for Windows 98 Version 3.2」をインストールしてください。このドライバは、インターネットのホームページ「メビウスサポートステーション」（http://www.sbc.co.jp/mebius/）からダウンロードしてお使いいただけます（2000 年 5 月現在）。

シャープノートパソコン「メビウス」の設定

光通信ポートを使用するには、「メビウス」のセットアップユーティリティのAdvancedメニューで「IR Mode」を「IrDA」（あるいは「IR Type」を「IrDA1.0」または「IrDA1.1」など）に設定します。（Advancedメニューで、「COM2」が光通信ポートに割り当てられていることを確認してください。）

具体的な操作は、メビウス本体の取扱説明書の中の「セットアップユーティリティ」の項目をお読みください。

メモ デスクトップタイプの「メビウス」で、光通信ポートのある機種をお使いの場合は、メビウス本体の取扱説明書をご覧ください。

SHARP IR for Windows 98 Version 3.2 の設定について

「メビウス」のコントロールパネルを開くと、「赤外線モード」アイコンが表示されますので、この「赤外線モード」アイコンをダブルクリックします。開いたダイアログボックスが「IrDA モード」と「ASK モード」のどちらかを選択するタイプの場合は、「IrDA モード」を選択してください。

ダイアログボックスがポート番号を指定するタイプの場合は、お使いのメビウスの取扱説明書［または SHARP IR for Windows 98（シャープ赤外線ドライバ）Ver. 3.2に付属の情報］に従って、ポート番号を指定します。

ただし、通常は、あらかじめ設定されているポート番号のままで使用できます。

Windows 95 で光通信（IrDA）を利用するとき

Windows 95で光通信（赤外線通信）を利用するには、赤外線モニター（マイクロソフト社の赤外線通信ドライバ）が必要です。

IrDA対応の光通信ポート搭載パソコンをお使いの場合

- マイクロソフト社製の「赤外線通信ドライバ」が必要です。（Windowsのコントロールパネルの中に「赤外線モニター」のアイコンがあれば、「赤外線通信ドライバ」は内蔵されています。
- マイクロソフト社製の「赤外線通信ドライバ」が内蔵されていない場合は、マイクロソフト社からドライバを入手してください。
  ただし、パソコンによっては、このドライバで光通信ポートを使用できない場合があります。
  （マイクロソフト社製の「赤外線通信ドライバ」が、お手持ちのパソコン内蔵の光通信ポートを使用できるかは、パソコンメーカーにお問い合わせください。）

シャープノートパソコン「メビウス」を使用する場合

「必要な動作環境」（10ページ）に記載の条件を満たす「メビウス」をお持ちの場合は、新規に赤外線通信ドライバを入手する必要はありません。「メビウス」の取扱説明書を見て、光通信機能の設定を行ってください。



マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの使いかたについては、「マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの使いかた」（57ページ）をお読みください。

※「SHARP IR for Windows95（シャープ赤外線ドライバ）Ver.2.33」は、赤外線通信における通信ポートによるIrDA/ASKの自動切替えをメビウスにおいて適用できるようにしたドライバです。一部のメビウスには、このドライバが工場出荷時にインストールされています。このドライバはインターネットのホームページ「メビウスサポートステーション」（http://www.sbc.co.jp/mebius/）からダウンロードしてお使いいただけます（2000年5月現在）。

シャープノートパソコン「メビウス」の設定

光通信ポートを使用するには、たとえばお手持ちの「メビウス」のセットアップユーティリティのAdvancedメニューで「IR Mode」を「IrDA」（あるいは「IR Type」を「IrDA1.0」または「IrDA1.1」など）に設定します。（Advancedメニューで、「COM2」が光通信ポートに割り当てられていることを確認してください。）

具体的な操作は、メビウス本体の取扱説明書の「セットアップユーティリティ」の項目をお読みください。



デスクトップタイプの「メビウス」で、光通信ポートのある機種をお使いの場合は、メビウス本体の取扱説明書をご覧ください。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの入手のしかた（2000年5月現在）

IrDAタイプで光通信を行う場合、インターネットからマイクロソフト社の赤外線通信ドライバを入手してください。（無償。ただし、インターネットに接続するときの料金などは別途必要となります。）

（注）URLは変更されることがあります。

インターネットからダウンロードする場合

マイクロソフト社のホームページ(http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/pcatnew.htm)にアクセスして「赤外線通信ドライババージョン2.0」をダウンロードしてください。

（使用方法・インストール方法などについては、http://www.microsoft.com/japan/win95/modules/AT_IR20.htm の説明をお読みください。）

ダウンロードした「Ir2w95j.exe」は自己解凍型のファイルです。ダウンロード後、「Ir2w95j.exe」のアイコンをダブルクリックし、ファイルの展開（解凍）を行ってください。なお、展開されたファイルの中のRELNOTES.DOCやINFRARED.TXTに、赤外線通信ドライバ2.0のインストール方法や使用方法が説明されています。参照してください。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバのインストール方法

1　「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」を選択します。

2　[参照] をクリックし、インストールするドライバソフトがあるフォルダを指定し、「Setup」を選び、[開く] をクリックします。

オンラインサービスからダウンロードしたときは、「Ir2w95j.exe」ファイルをダブルクリックして解凍しておいてください。

3　[OK]をクリックして赤外線デバイスウィザードが起動したら、[次へ] をクリックします。

4　「製造元」は「（スタンダード赤外線デバイス）」を選び、「モデル」は「ラップトップまたはデスクトップのビルトイン赤外線ポート」が選択されていることを確認して、[次へ] をクリックします。

5　「通信ポート（COM2）」を選択し、[次へ]をクリックします。

「SHARP Serial Infra-Red Port(COM2)」や「SHARP 4M Fast Infra-Red Port(COM2)」などが表示される場合は、それらを選択してください。

6　「標準のポートを使用」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

7　[完了] をクリックすると、赤外線通信ドライバのインストールが終了します。

Windows 95のコントロールパネルを開いてください。「赤外線モニター」アイコンが追加されています。

続いてIrDAで通信を行うための赤外線通信ドライバの設定を行ってください。（☞57ページ）

付録

光通信ポート内蔵のパソコン（メビウス以外）を使用する場合

お使いのパソコンがどの通信方式に対応しているか、あるいはインストールされている赤外線通信ドライバがそのパソコンの光通信ポートをコントロールしているかどうかについては、パソコンのメーカーにお問い合わせください。
機種によっては、内蔵光通信ポートや選択するデバイス名が異なる場合がありますので、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの入手のしかたと操作については、以下の項目の内容をお読みください。
マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの入手のしかた（☞54 ページ）
マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの使いかた（☞57 ページ）
マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの終了の方法（☞59 ページ）

なお、赤外線通信ドライバのインストール方法については、赤外線通信ドライバをダウンロード後、解凍（展開）されたフォルダ内のリリースノートファイル（たとえば、「RELNOTES.DOC」、「INFRARED.TXT」）をご覧ください。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの使いかた

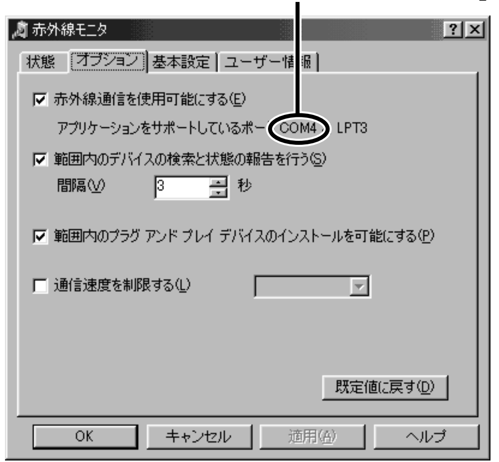
Windows 98の場合を例に光通信の方法について説明します。Windows 95 の場合も操作は基本的に同じです。

1 **Windows 98 のコントロールパネルを開き、「赤外線モニタ」アイコン（Windows 95の場合は「赤外線モニター」アイコン）をダブルクリックします。**

「赤外線モニタ」画面が表示されます。

2 **「オプション」タブをクリックします。**

「アプリケーションをサポートしているポート」



3 **「赤外線通信を使用可能にする」の左側のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。**

4 **「アプリケーションをサポートしているポート」の右横に表示されているCOMポート（たとえば、先の画面ではCOM4）が、各アプリケーションの通信設定で光通信を選択したときに指定する COM ポートになります。**

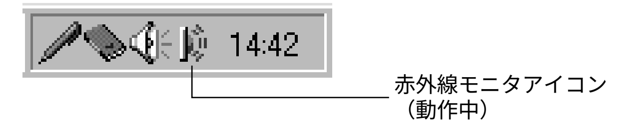
この通信ポートの設定がまちがっていると通信できません。

5 **「基本設定」タブをクリックして、「基本設定」画面にします。**

6 **［既定値に戻す］をクリックして、設定を標準にします。**

付録

7 「OK」をクリックし、「赤外線モニタ」画面を閉じると、タスクバーに赤外線モニタのアイコンが表示されます。



8 ザウルスとパソコンの光通信送受光部が互いにまっすぐ向き合うように設置して（約30cm以内）、ザウルスをパソコンリンクの実行画面にします。

ザウルスを検出すると、タスクバーのアイコンは次のようになります。



この状態で、IrDA方式による光通信ができます。

9 パソコン側の通信設定を行います。（15、29ページを参照）

通信方式は、「IrDA」を選択してください。「使用するポート」または「ポート」には、手順**2**の「アプリケーションをサポートしているポート」の右横のCOMポートを選択してください。

赤外線モニタが動作していない状態では、IrDAによる通信はできません。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの終了の方法

1　タスクバーの「赤外線モニタ」アイコンを右クリックします。

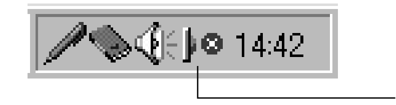
次のメニューが表示されます。

開く
✓ 赤外線通信を使用可能にする
✓ 範囲内のデバイスの検索
✓ プラグ アンド プレイを有効にする

2　「赤外線通信を使用可能にする」をクリックします。

チェックマークが消えます。

赤外線モニタのアイコンは次のようになります。



「赤外線モニタ」
(動作していない状態)

赤外線モニタを起動させるには、タスクバーの「赤外線モニタ」アイコンを右クリックします。

「赤外線通信を使用可能にする」をクリックします。

「赤外線通信を使用可能にする」の左側にチェックマークが付きます。



IrDA 方式で通信を行う場合、必ず赤外線モニタを動作中の状態にしておいてください。

赤外線モニタのショートカットを作成してデスクトップに配置すると、赤外線モニタの立ち上げを簡単にすることができます。

ショートカットの作成方法については、Windows 98/Windows 95のファーストステップガイドまたは、ヘルプなどを参照してください。

付録

主な仕様

形名	：	CE-AP1
再生ファイル形式	：	MP3
再生可能ビットレート	：	8 ～ 320 kbps
再生可能サンプリング周波数	：	8 ～ 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz（MP3）
操作キー	：	再生／一時停止、曲送り、曲戻し、VOLUME アップ／ダウン、HOLD、REPEAT
イコライザー	：	プリセットまたはバス／トレブル独立設定可能（各 30 段階） ＊「MP3 プレーヤー」MORE ソフト制御
ボリューム	：	電子ボリューム（10 段階）
インジケータ	：	LED（再生時 / リモコン操作可能時 点灯・電池残量減少時 点滅）
ヘッドホン端子	：	φ 3.5 mm ステレオミニジャック
外部インターフェイス	：	ザウルスのオプションポート 16 に接続
記録媒体	：	コンパクトフラッシュメモリーカード
電源	：	ザウルス本体より供給
連続再生時間	：	

	MI-P10	MI-C1	MI-P1	MI-P2、MI-J1	MI-EX1	MI-310
アニメーション表示ON	約100分	約120分	約110分	約90分	約80分	約180分
カレンダー表示（MP3プレーヤー画面隠す）	約210分	約210分	約210分	約200分	約130分	約380分

※乾電池は新しいもの、充電池は満充電にした場合、またMI-310ではフロントライト消灯時の場合の数値です。

動作温度範囲	：	0 ～ 40 ℃、10 ～ 85 %RH
外形寸法		
MP3 プレーヤー本体	：	幅約 36.0mm ×奥行き約 67.5mm ×厚さ約 12.5mm（ケーブル、コネクター含まず） ケーブル長約 70cm
ステレオヘッドホン	：	ケーブル長約 95cm（ヘッドホン、プラグ含まず）
質量	：	約 26 g

付録

困ったときには

「MP3 プレーヤー」MORE ソフトをザウルスへ読み込むとき

■「MP3プレーヤー」MOREソフトをザウルスにダウンロードできない

•パソコンとザウルスが正しく接続されているか、確認してください(☞12ページ)。

•「MP3 プレーヤー」MORE ソフトのダウンローダーの画面で、各設定項目が正しく設定されているか確認してください。

通信ポート：クレードル／ケーブル接続のときは、それらのコネクターが接続されているポートを正しく選択します。光通信を使うときであれば、コントロールパネル内の赤外線モニタを開き「オプション」タブの「アプリケーションをサポートしているポート」の右横に書かれた COM ポート番号を選択します (☞57 ページ)。

通信方法： クレードルまたはケーブル接続のときは「ケーブル通信」を、光通信のときは「光通信(IrDA 115k)」を選択します。

通信速度： 通常は「115200」が選択されますが、この数値を、ザウルス側のパソコンリンク画面の通信速度の設定と合わせてください。また、「転送先」(本体／カード)をまちがっていないか確認してください。

•ザウルス側のパソコンリンク画面が正しく設定されているか確認してください。クレードル／ケーブル接続のときは「オプションポート 16」が、光通信のときは「光通信ポート」が選択されていますか。また、クレードル／ケーブル通信のときの通信速度の設定が、パソコン側のダウンローダー画面の「通信速度」の設定値とあっていますか。
光通信のときであれば、「IrDA 115kbps」が選択されていますか。

•通信ポートを占有しているアプリケーションソフトが実行されていませんか。たとえば、ザウルスパワーコネクションやPowerPIMMなどを使用されていて、「接続待機状態」や「自動通信状態」になっていると、ダウンローダーは使用できません。それらの状態を解除してから、再度「ＭＰ３ プレーヤー」MORE ソフトのダウンローダーを実行してください。

■「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを展開できない

•「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを読み込む本体メモリーまたはカードの空きエリアが 1.4MB 以上ないと、展開できません。「メモリー管理」機能でメモリーの空き状況を確認し、もしデータでいっぱいになっているようであれば、不要なデータを削除した後にメモリー整理をして、空きエリアを増やしてください。

■通信エラーが起きた

•パソコンリンクやザウルスプラグインの設定で、通信速度を順次下げてお試しください。

RealJukebox を使って CD の曲を MP3 形式で録音するとき

※以下の説明のほかに、RealJukebox の ReadMe もお読みください。「スタート」-「プログラム」-「Real」-「RealJukebox ReadMe」から参照することができます。また、RealJukeboxのヘルプの「トラブルシューティング」の説明もきっとお役に立ちます。

■パソコンの CD-ROM ドライブが音楽用 CD を認識しない

• お使いのパソコンの CD-ROM ドライブおよびドライバーは、音楽 CD を認識できないタイプである可能性があります。パソコンメーカーにお確かめください。(☞10 ページの「必要な動作環境」)

• 録音時、RealJukeboxから「RealJukeboxは、CDを録音できませんでした…」とのメッセージが表示されたときには、RealJukebox の環境設定が合っていない可能性があります。RealJukeboxの「オプション」-「環境設定」-「CDドライブオプション」タブの「CD-ROM の種類」の設定を変えてみてください。「標準」の設定で認識しない場合には、「その他の種類」を選び、右横のボックスからお使いのCD-ROMのタイプを選択します。どれを選んでよいのかわからなければ、ひとつずつ試してみるとよいでしょう。

■ CD からデジタル録音できない

•RealJukeboxから、デジタル録音ができないのでアナログモードで録音する旨のメッセージが表示されたときには、RealJukeboxの環境設定が合っていない可能性があります。RealJukebox の「オプション」-「環境設定」-「CD ドライブオプション」タブの「CD-ROM の種類」の設定を変えてみてください。「標準」の設定で発生する場合には、「その他の種類」を選び、右横のボックスからお使いのCD-ROMのタイプを選択します。どれを選んでよいのかわからなければ、ひとつずつ試してみるとよいでしょう。また、「録音オプション」タブで「録音方法」を「デジタル」にします。

■ MP3 で録音したデータが音飛びする

• RealJukebox を使って CD から MP3 形式で録音したデータを再生すると音飛びが認められる場合は、次のことに留意して、再度録音してみてください。
  ・ウイルス検索ソフト、スケジューラなど指定時刻に起動するソフト、スクリーンセーバー、一定時間ごとに自動的に動作するソフトなどを終了させてください。
  ・ノートパソコンの場合、省電力機能を無効にしてください。
  ・録音中は、他の操作はしないでください。

• 10ページで説明のパソコン環境で録音していますか。特にCPUの性能が低いと、音飛びが発生する率が高くなります。

ザウルスプラグイン for RealJukebox を使って MP3 データを転送するとき

■ザウルスプラグインを使って曲(MP3データ)をカードに転送できない

• 音楽著作権保護情報が書き込まれているカードを使っていますか。
音楽データ（MP3 ファイル）を転送するカードは、前もって「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを使って音楽著作権保護情報を書き込んでおく必要があります（☞24 ページ）。

• 転送する音楽データのサイズがカードの容量を超えていると転送できません。カードの容量に合わせて音楽データを転送してください（☞9 ページ）。

■通信エラーとなってザウルス側のカードに転送できない

• 通信ポートを占有しているアプリケーションソフトが実行されていませんか。たとえば、ザウルスパワーコネクションやPowerPIMMなどを使用されていて、「接続待機状態」や「自動通信状態」になっている場合は、それらの状態を解除してから、再度転送を実行してください。

• パソコンリンクやザウルスプラグインの設定で、通信速度を順次下げてお試しください。

■ CE-AP1 の接続時に「MP3 プレーヤー」画面や PC リンク画面が表示されたときは

• MP3プレーヤー本体（リモコン）のコネクターを、ザウルスのオプションポート 16 の挿入口に対して斜め方向からゆっくり抜き挿しすると、ザウルスの電源が入って「MP3 プレーヤー」MORE ソフト画面や PC リンク画面になることがあります。コネクターは挿入口に対してまっすぐに取り付け／取り外しを行ってください。もし、PCリンク画面が表示されたときには、[中断]キーに２～３秒タッチして実行を中断してください。

再生時

■再生できない

• 音量を小さく絞っていませんか。「MP3 プレーヤー」MORE ソフト側または MP3 プレーヤー本体側で音量を適度に上げて聞いてください。

• ザウルス独自の音楽著作権保護情報を書き込んだカードに MP3 データを転送し、そのカード内のデータを別のカードにコピーしたものをザウルスで再生しようとしていませんか。音楽著作権保護機能が働くため、いったんカードにコピーした MP3 データは、他のカードにコピーしてもザウルスで再生することはできません。

■ MP3 プレーヤー本体（リモコン）の再生／一時停止ボタン（▶II）を押しても、再生がスタートしない

•HOLD（誤動作防止）スイッチがオンになっていませんか。オフにしてください（☞35 ページ）。

•「MP3 プレーヤー」MORE ソフトが停止していると再生／一時停止ボタンを押しても再生がスタートしません。「MP3 プレーヤー」MORE ソフトを起動してください。

•MI-310では、ハードウェアの特性のため、MP3プレーヤー本体（リモコン）の再生／一時停止ボタン（▶II）を押しても再生がスタートしない仕様になっています。

■「MP3プレーヤー」MOREソフトの画面に曲のタイトルが表示されない

•カードの内容を表示していない可能性があります。[カード]キーにタッチして、使用メモリーをカードに切り替えてみてください。使用メモリーがカードになっていると、画面の左上隅に 🅲 が表示されます。

• 曲リストの更新を行ってみてください。
[操作メニュー] キーに続いて [曲リスト更新] にタッチします。

■再生時、音飛びする

•いつも同じ箇所で音飛びするときは、パソコン上での録音時に問題があった可能性があります。その曲がCDから録音したものであれば、再度録音し直してみてください。なお、RealJukebox を使って CD から MP3 形式で録音するとき、他のアプリケーションを動かさないようにすることをお勧めします。（62 ページの「**■ MP3 で録音したデータが音飛びする**」を参照してください）

•再生時にほかの画面を使っていると、使用の機能によっては音飛びが発生することがあります。音飛びが発生する場合には、その機能を使用しないようにしてください。

付録

■再生時、他の画面の動作が遅くなる

- 「MP3プレーヤー」MOREソフトを使って音楽再生中に、漫画を見たり文庫を読んだり、スケジュールを入力したりするなど他の機能を使っていると、画面表示や手書認識での文字入力などの動作が若干遅くなります。（遅くなる度合は、ザウルスの機種により異なります。）これは、ザウルス本体のCPUパワーの多くが音楽再生にかかるためです。なお、インターネット接続や光通信などを行うと、極端に速度が遅くなったり音楽の再生が止まったりしますので、音楽再生中は通信機能を使用しないでください。

■音質が良くない

- RealJukebox BasicでCDから音楽データをMP3に変換して取り込むとき、ビットレートを56kbps や64kbps で録音すると音質が悪くなります。96kbpsで録音してください。また、RealNetworks社のホームページ(http://www.jp.real.com/)からは、128kbps 以上のビットレートで録音が可能なRealJukebox Plus 日本語版（有償）をダウンロードしてご使用になれます。
- 曲に合わせた音質を選択していますか。音質は「MP3プレーヤー」MOREソフト画面の「sound」ボタンで選ぶことができます。また、カスタマイズ設定を行えば、自分好みの音質に設定することができます。（☞39 ページ）

■突然 PC リンクが実行された

- MP3プレーヤー本体(リモコン）をザウルスに完全に装着していない状態で、MP3プレーヤー本体を操作すると、PCリンクが実行される場合があります。MP3 プレーヤー本体をしっかりと装着してください。
  実行状態になっているPCリンク画面は、［中断］キーにタッチして、実行を中断してください。

■再生時間の表示が実際と違う

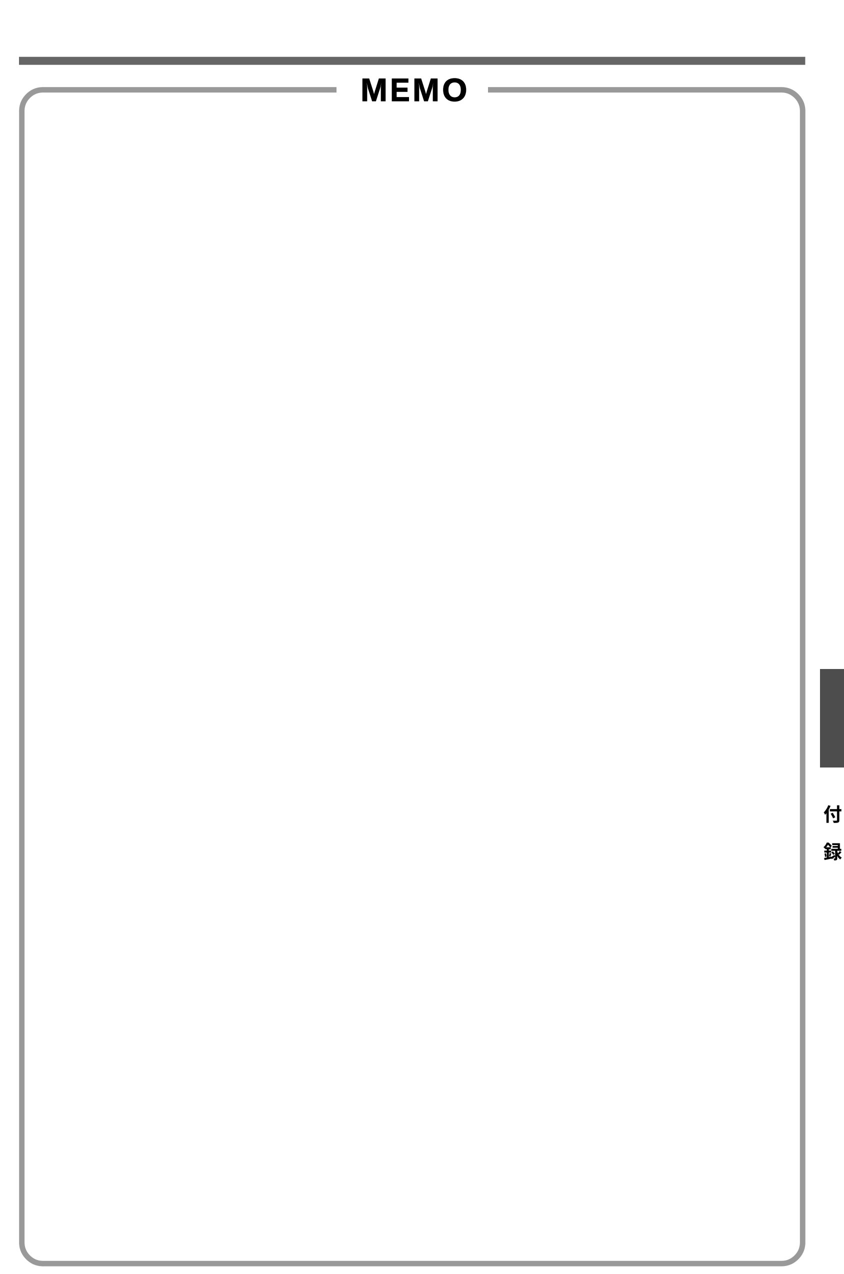
- 可変ビットレートで録音したMP3ファイルを再生していませんか。可変ビットレートで録音した MP3 ファイルを再生した場合は、再生時間が正しく表示されないことがあります。

■音楽を再生中に、MORE ソフトや他の機能が働かないなど何らかの異常が発生する

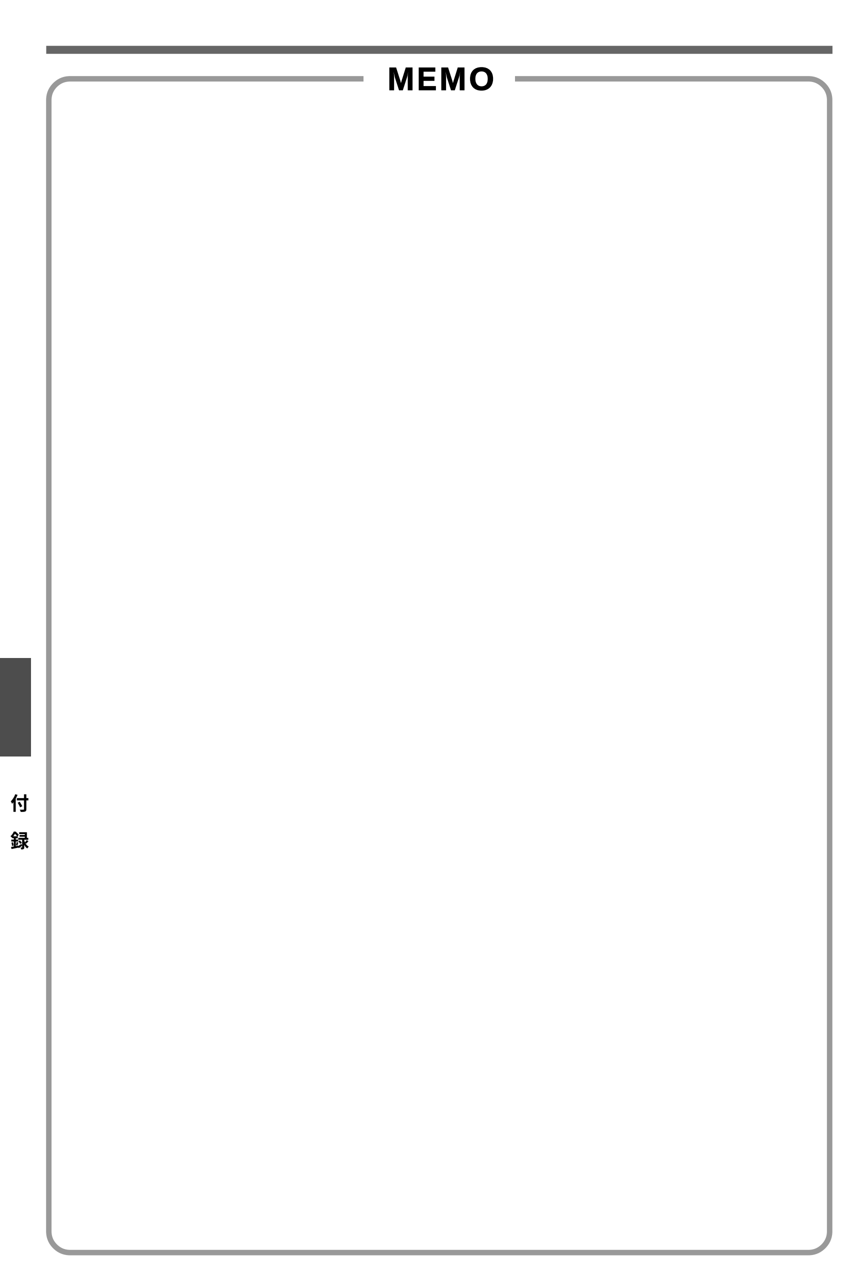
• 作業用メモリーの不足によって、音楽を再生中にフォトメモリーの路線図などを表示できない、あるいは他の MORE ソフトが正常に動作しない場合には、再生を一時停止または停止してみてください。あるいは、使用していない MORE ソフトの実行を停止してみてください。

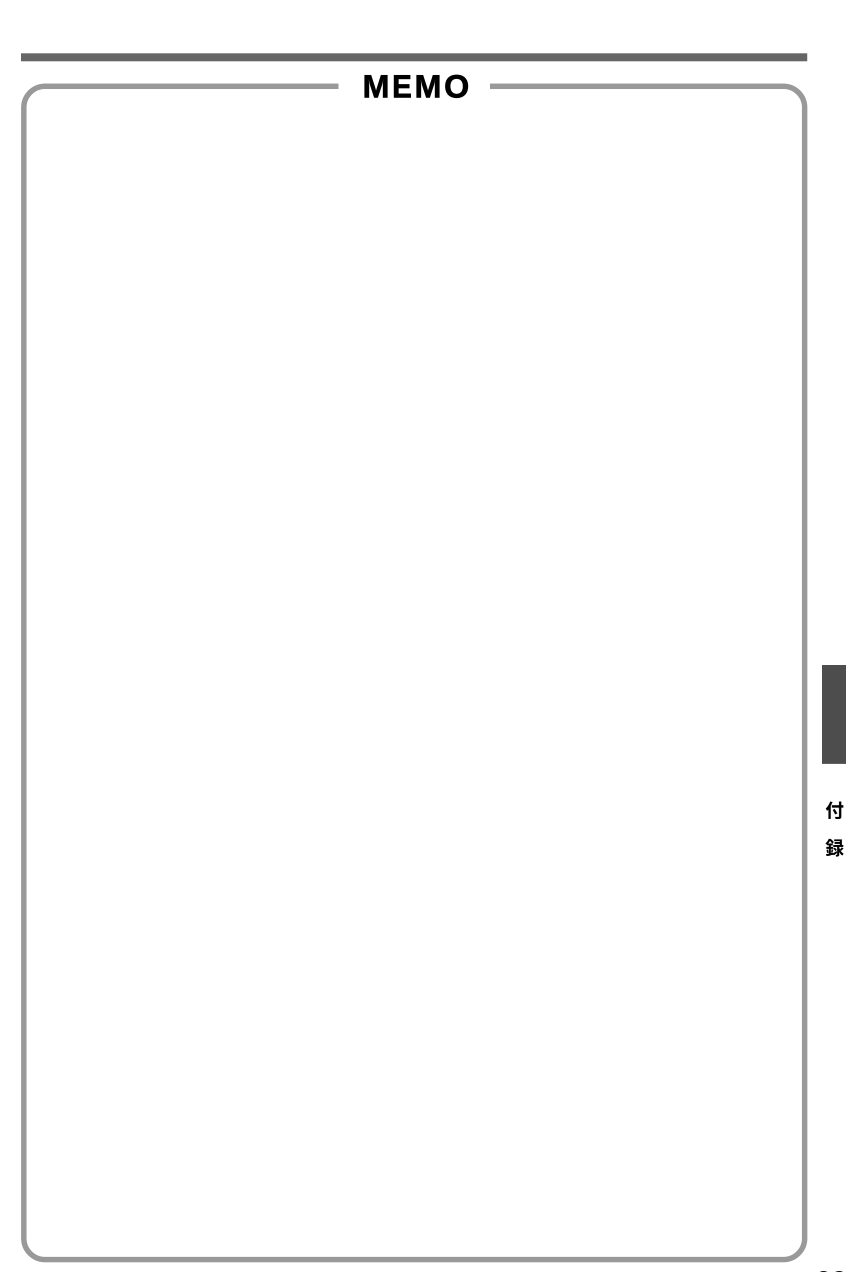
■再生方法（mode）を切り替えることができない

• リモコンのリピートスイッチがONになっていると、「MP3プレーヤー」MORE ソフト画面の［mode］にタッチしても再生方法を切り替えることができません。リピートスイッチを OFF にしてください。



MEMO


MEMO


MEMO

索引

保証とアフターサービス

アフターサービスについて

■保証について

1. この製品には、取扱説明書に保証書がついています。
   保証書は、販売店にて、所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買いあげの日から 1 年間です。
   保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は ...
   修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼されるときは

1. 本書をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
2. それでも異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を お持込み のうえ、修理をお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。
3. アフターサービスについてわからないことは ...
   お買いあげの販売店、または、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお申しつけください。付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

保証書（保証規定）

本書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。お買いあげ年月日、販売店名など記入漏れがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買いあげの販売店にお申し出ください。
ご転居・ご贈答品で、お買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へご持参、またはお送りください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書･本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげ販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。ただし、郵送いただく場合の郵送料金･梱包費用などはお客様のご負担となります。
   なお、故障の内容によりまして、修理にかえ同等品と交換させていただくことがあります。
2. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
   (イ) 本書のご提示がない場合。
   (ロ) 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   (ニ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   (ホ) 火災･地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障･損傷。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (THIS WARRANTY CARD IS ONLY VALID FOR SERVICE IN JAPAN.)

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

修理メモ

＜郵送についてのお願い＞

郵送される場合には次のことをご注意ください。

1. 保証期間中であるときは、本書を製品に同梱ください。
2. 製品は緩衝剤に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋（メールパック：文具店などでお求めいただけます）などに入れ、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
3. 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

シャープ MP3 プレーヤーキット 保証書

持込修理

(WARRANTY CARD)

品　名	MP3 プレーヤーキット
形　名	CE-AP1
保証期間 (VALIDITY)	お買いあげ日より本体 1 年間 (FULL 1 YEAR AFTER PURCHASE)
お買いあげ日 (PURCHASE)	__ 年 __ 月 __ 日

お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	電話番号	(　　　　)　　-

取扱販売店名・住所・電話番号

印

シャープ株式会社

〒 545-8522　大阪市阿倍野区長池町 22 番 22 号

電話　(06) 6621-1221（大代表）

シャープ株式会社

本　社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号 電話　(06) 6621-1221（大代表）
通信システム事業本部 モバイルシステム事業部	〒639-1186	奈良県大和郡山市美濃庄町492 電話　(0743) 53-5521（大代表）

PRINTED IN KOREA
TINSJ1231YCK1②